

第277回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日 時 令和7年9月13日(土)
会 場 ステーションコンファレンス東京 5・6階 (千代田区)
第Ⅰ会場 (503CD) ※LIVE配信会場
第Ⅱ会場 (503AB)
第Ⅲ会場 (501A)
第Ⅳ会場 (501B)
第Ⅴ会場 (602AB)
第Ⅵ会場 (602CD)
第Ⅶ会場 (605BC)
PCセンター (501S)
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-7-12 サピアタワー 4～6階
TEL 03-6888-8080
会 長 武蔵野赤十字病院 循環器内科
足利 貴志

御 案 内

今回もLIVE配信(第Ⅰ会場)を行います。参加の際は事前参加登録にご協力ください。詳細は地方会HPをご確認ください。

1. 参加費: 会員/非会員(医師) 3,000円
後期研修医、コメディカル 1,000円
初期研修医、医学部学生 無料
※当日、受付にて初期研修医証明書、学生証をご提示下さい。

2. 受付時間: 参加受付 8:30-18:00
PCセンター 8:30-17:30

3. 一般演題発表時間: 口演6分、討論4分

4. Award: Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Awardを設け、各Award最優秀賞、優秀賞を顕彰いたします。

選考委員による第一次書類審査による選考後、地方会当日口述発表による第二次審査で審査委員から発表者に対し質疑応答を行います。(口演6分、討論4分)

Student Award: 第Ⅱ会場: 16:05-16:55

Resident Award: 第Ⅱ会場: 17:05-17:55

Case Report Award: 第Ⅰ会場: 17:05-17:55

Clinical Research Award: 第Ⅰ会場: 16:05-16:55

なお、以下の項目が審査の対象となります。

- 1) 正しい医学用語の使用
- 2) 発表時間の厳守と態度
- 3) 考察
- 4) 質問に対する応答
- 5) 循環器臨床に対する貢献度

表彰式は評議員会終了後に評議員懇親会で行います。

5. その他: 会場内では携帯電話のスイッチはお切りいただきマナーモードに設定して下さい。
また、講演中の写真撮影はご遠慮下さい。

託児サービスのご案内:

日本循環器学会関東甲信越支部では、地方会へのご参加の利便を図るため託児サービスを行っております。

社員総会: 地方会終了後、第Ⅰ会場で行います。

(懇親会は5階フロアにて行います。)

次回地方会: 第278回地方会は次の通りです。

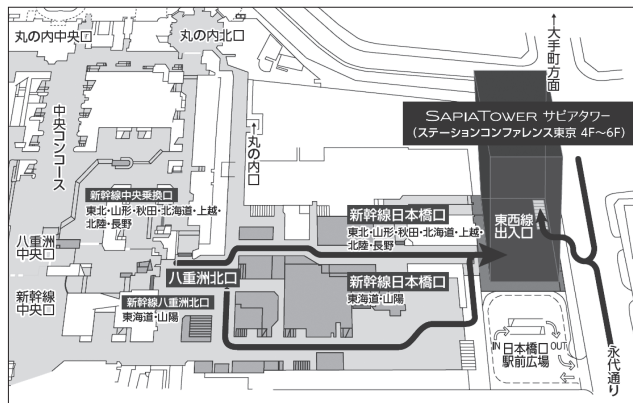
日時: 令和7年12月20日(土)

会場: ステーションコンファレンス東京(千代田区)

会長: 吉田 博

(東京慈恵会医科大学附属柏病院 中央検査部)

ステーションコンファレンス東京 案内図



交通のご案内

【JR線・東京メトロ】

「東京駅」日本橋口(新幹線専用改札口) 徒歩1分

八重洲北口改札口 徒歩2分

東京メトロ東西線「大手町駅」B7 出口から直結

ご挨拶

第277回日本循環器学会関東甲信越地方会

会長 足利 貴志

武蔵野赤十字病院 循環器内科

この度、第277回日本循環器学会関東甲信越地方会の大会長を拝命いたしました。今回のテーマは、「循環器治療の現状と今後の発展」といたしました。この流れに沿い、教育セッション、会長企画セッションにおきましては、経験豊富な先生より現在の治療および今後の展望をお話ししていただけたと思います。近年の循環器診療におきましては、低侵襲化、高度専門化が進んでおります。エビデンスの蓄積およびこれまでの臨床経験は、大変に重要です。また、多くの新規治療や専門治療におきましては、専門知識や柔軟な考え方も必要になってまいりました。多くの専門領域の先生が一同に集まり、議論が深まることを祈念しております。

若手医師や医学生にも循環器内科の素晴らしさを味わっていただきたいと考えておりましたところ、心電図検定講座やベストティーチャーズの講演など、多くの企画を行うことが出来ました。企画を推進していただいた先生方には、深謝申し上げます。

さらに、一般演題等の講演や質疑を通して、参加される先生方の親交が深まりますことを願っております。多くの皆様のご参加を心よりお待ち申し上げます。

【発表者の方へ】

発表はすべてPCプレゼンテーションとなりますので、二次元コードより要領をご確認の上、ご発表の30分前までにPCセンターへお越し下さい。



第277回 日本循環器学会関東甲信越地方会

日時：令和7年9月13日（土）

会場：ステーションコンファレンス東京 5・6階（千代田区）

会長：武蔵野赤十字病院 循環器内科 足利 貴志

第Ⅰ会場		第Ⅱ会場		第Ⅲ会場		第Ⅳ会場	
8:50	開会挨拶						
9:00	会長企画セッションⅠ STEMI治療最前線 演者：浅井 邦也 伊莉 裕二 新家 俊郎	9:00	一般演題1 末梢血管/大動脈	9:00	一般演題3 虚血性心疾患1	9:00	一般演題7 心臓・腫瘍/腫瘍循環器
		9:50	P9	10:00	P13	10:00	P18
		10:00	一般演題2 静脈				
10:30	P6	10:30	P9	10:15	一般演題4 虚血性心疾患2	10:15	一般演題8 弁膜症1
						10:45	P19
10:40	教育セッションⅠ 循環器疾患の現在、今後 演者：磯部 光章 佐藤 明 平尾 見三	10:40	予防委員会企画セッション 循環器病予防Up to Date 一次予防から二次予防まで 演者：木田 圭亮、星出 聡、 小倉 正恒、南 尚賢、 明石 嘉浩、 塚田（哲翁）弥生	11:05	P14		
				11:20	一般演題5 虚血性心疾患3	11:20	一般演題9 弁膜症2
12:10	P6	12:10	P10	12:10	P15	12:10	P19
12:20	ランチョンセミナー1 今どきの心不全診断スキームと 心アミロイドーシス 演者：猪又 孝元 共催：ファイザー株式会社	12:20	ランチョンセミナー2 ACS 演者：木村 剛、新家 俊郎 共催：アボットメディカル ジャパン合同会社	12:20	ランチョンセミナー3 知っておきたい 心房細動治療の進化 演者：高橋 良英、宮崎 晋介 共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社	12:20	ランチョンセミナー4 見逃していませんか？循環器内科医が診察し ている希少疾患～虚血性心疾患に潜む家族性 高コレステロール血症ホモ接合体（HoFH）～ 演者：岩田 洋、佐藤 加代子 共催：Ultragenyx Japan 株式会社
13:10	P6	13:10	P10	13:10	P15	13:10	P20
13:20	第24回ダイバーシティ・ フォーラム / 地方会あり方 検討委員会 合同セッション 循環器内科医のリアルライフ ～ラ イフ・ワーク・マネーの観点から～ 演者：薬師寺 忠幸、小田 優香、 宇都宮 誠、家田 真樹、 渡邊 雄介、吉本 明子、 谷地 織、松本 佐保姫	13:20	教育セッションⅡ 僧帽弁閉鎖不全症に対する アプローチ 演者：鶴田 ひかる 大野 洋平 藤田 知之	13:20	学術委員会企画セッション 不整脈最新ガイドラインに 学ぶ 演者：岩崎 雄樹 池田 隆徳 近藤 祐介	13:20	会長企画セッションⅡ 循環器疾患における画像診 断の進歩 演者：高村 千智 加藤 真吾 松本 直也
14:50	P6	14:50	P11	14:50	P16	14:50	P20
15:00	デザートセミナー1 Simple and Easyになった抗凝固 療法ーその苦難の歴史を語ろうー 演者：山下 武志 共催： Bristol Myers Squibb 株式会社/ファイザー株式会社	15:00	デザートセミナー2 DCBの最新知見 ー臨床と病理の視点からー 演者：飯島 雷輔、大塚 文之 共催：ニプロ株式会社	15:00	一般演題6 虚血性心疾患4	15:00	デザートセミナー3 集中治療室から始める心不全の 至適薬物療法 演者：南 雄一郎 共催：小野薬品工業株式会社/ アストラゼネカ株式会社
15:50	P7	15:50	P11	15:50	P16	15:50	P20
16:05	Clinical Research Award	16:05	Student Award	16:00	デザートセミナー7 心室性機能性MRIに対するMitraClip の治療と介入のタイミング 演者：荒川 雅崇、泉 佑樹 共催：アボットメディカル ジャパン合同会社	16:00	デザートセミナー8 選ばれるには理由があるーDETで迷わないー 演者：吉田 律、山本 洋平 共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
16:55	P7	16:55	P11	16:50	P17	16:40	P20
17:05	Case Report Award	17:05	Resident Award				
17:55	P8	17:55	P12				
18:00	閉会挨拶						
18:05	社員総会						

【専門医単位登録に関して】

専門医単位に関するセッション（地方会参加単位、教育セッション、医療安全・医療倫理に関する講習会）は、セッション開始前に単位登録手続デスクへお越しくださいますようお願い申し上げます。

セッション終了後には単位のご登録ができないためご注意ください。

また地方会参加単位登録（5単位）、教育セッション（3単位）、医療安全・医療倫理に関する講習会（2単位）はそれぞれ単位の登録手続きを行っていただく必要がございます。

お手数ではございますがそれぞれの単位のご登録をお願いいたします。

■「地方会参加単位」（5単位）受付時間 9:00～18:00（開催終了まで）

■「教育セッション」（3単位）受付時間 10:10～11:40/12:50～14:20（開始30分前から終了30分前まで）

■「医療安全・医療倫理に関する講習会」（2単位）受付時間 15:30～17:30（開始30分前から終了30分前まで）

第Ⅴ会場		第Ⅵ会場		第Ⅶ会場	
9:00	一般演題 1 0 不整脈 1	9:00	一般演題 1 3 心筋炎・心筋症 1	9:00	一般演題 1 7 その他の疾患/地域医療/全 般的問題
10:00	P21	9:50	P25	10:00	P29
10:15	一般演題 1 1 不整脈 2	10:15	一般演題 1 4 心筋炎・心筋症 2	10:15	一般演題 1 8 肺高血圧
11:15	P22	11:15	P25	10:55	P30
11:30	一般演題 1 2 デバイス	11:30	一般演題 1 5 心内膜炎	11:10	ベストティーチャーズ生ライブ ※地方会あり方検討委員会企画セッ ション 「若手医師や学生に響く講義を学ぶ」 演者：阿部 拓朗 高間 典明 P30
12:10	P23	12:10	P26	12:10	
12:20	ランチョンセミナー 5 心不全の薬物治療 演者：河野 隆志 共催：日本ペーリンガーインゲ ルハイム株式会社 P23	12:20	ランチョンセミナー 6 心エコーで「肺高血圧症」を見つけたらどうしますか ～2025年改訂版最新ガイドラインを踏まえて～ 演者：平出 貴裕 共催：ヤンセンファーマ株式会社 メディカル アフエアーズ本部 P27	12:20	ランチョンセミナー 7 TAVI治療の最前線！！適応拡 大と術後フォローを考える 演者：笠原 智大、桐山 皓行 共催：エドワーズライフサイエ ンス合同会社 P30
13:10		13:10		13:10	
13:20	循環器病対策推進セッション 脳卒中・心臓病等総合支援セ ンターモデル事業：脳卒中中分 野とのコラボレーション 演者：須田 智 神山 信也 石井 秀樹	13:20	JCS-JHRS合同企画 演者：小谷 英太郎 徳田 道史	13:20	一般演題 1 9 心不全 1
14:50	P23	14:50	P27	14:00	P31
15:00	デザートセミナー 4 Philipsモダリティを活用した心 不全評価 演者：田中 旬、田邊 翔 共催：株式会社フィリップス・ ジャパン P24	15:00	デザートセミナー 5 弁膜症を聴く、地域で診る～連 携でつなぐ心の音～ 演者：坂 賢一郎、上岡 智彦 共催：日本メドトロニック 株式会社 P27	15:00	デザートセミナー 6 CMD（冠微小循環障害） 演者：伊藤 諒 共催：アボットメディカル ジャパン合同会社 P32
15:50		15:50		15:50	
16:00	デザートセミナー 9 循環器内科医が知るべきGLP-1受容 体作動薬の新たな知見と治療戦略 演者：清末 有宏 共催：ノボ ノルディスクファーマ 株式会社 P24	16:00	デザートセミナー 10 肺高血圧症 演者：菊池 華子 共催：MSD株式会社 P27	16:00	医療安全・医療倫理に関す る講習会 (DVDセッション)
16:50		16:50			
17:00	生物統計セミナー 循環器医に求められる統計 手法 演者：大山 善昭 前嶋 康浩 P24	17:00	一般演題 1 6 先天性		
18:00		17:50	P28	18:00	P32

第Ⅰ会場

会長企画セッションⅠ

9:00-10:30

座長（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科）上妻 謙

謙

座長（昭和大学藤が丘病院循環器内科）鈴木 洋

洋

STEMI治療最前線

STEMI治療：CICUにおける治療の変遷と進歩

（日本医科大学循環器内科）

浅井 邦也

（日本医科大学心臓血管集中治療科）

山本 剛、宮地 秀樹

STEMIに対する最新の治療、door to balloon time短縮は重要か？

（東海大学医学部内科学系循環器内科学）

伊莉 裕二

イメージングガイドPrimary PCIの可能性

（昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門）

新家 俊郎

教育セッションⅠ

10:40-12:10

座長（東京科学大学循環制御内科学）笹野 哲郎

哲郎

座長（北里大学医学部循環器内科学）阿古 潤哉

潤哉

循環器疾患の現在、今後

心不全治療の現在、今後

（榊原記念病院）

磯部 光章

冠動脈治療の現在、今後

（山梨大学大学院総合研究部内科学講座循環器内科学）

佐藤 明

「不整脈治療：現状と今後の展開」

（AOI国際病院循環器内科）

平尾 見三

ランチョンセミナー 1

12:20-13:10

共催：ファイザー株式会社

座長（慶應義塾大学医学部循環器内科）家田 真樹

今どきの心不全診断スキームと心アミロイドーシス

（新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学）

猪又 孝元

第24回ダイバーシティ・フォーラム / 地方会あり方検討委員会 合同セッション

13:20-14:50

座長（筑波大学医学医療系循環器内科）石津 智子

座長（医療法人社団ゆみの）弓野 大

座長（ウエルネストクリニック/株式会社Medtech JP/株式会社ドクターズインク）薬師寺忠幸

循環器内科医のリアルライフ ～ライフ・ワーク・マナーの観点から～

投票だから聞ける、ホンネのアンケート

（ウエルネストクリニック/株式会社MedtechJP/株式会社ドクターズインク）

薬師寺忠幸

医師12年目、勤務医のリアルライフ

（東京心臓不整脈病院循環器内科）

小田 優香

カテーテル治療医として、訪問診療医として
(TOWN訪問診療所循環器内科) 宇都宮 誠

循環器内科医 家田真樹のリアルライフ
(慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹

循環器内科医のリアルライフ 大学病院での臨床と起業の両立
(帝京大学医学部附属病院循環器内科) 渡邊 雄介

循環器×在宅医療×リハビリテーション、三つの専門医で地域で支える
(ゆみのハートクリニック在宅診療部) 吉本 明子

Climb your jungle gym!
(東京新宿メディカルセンター循環器内科) 谷地 織

多様性時代における個々人の意識改革について
(まつもとメディカルクリニック) 松本佐保姫

デザートセミナー 1 15:00-15:50 共催：ブリストルマイヤーズ スクイブ株式会社/ファイザー株式会社
座長 (東京慈恵会医科大学内科学講座循環器内科) 徳田 道史

Simple and Easyになった抗凝固療法 -その苦難の歴史を語ろう-
(心臓血管研究所) 山下 武志

Clinical Research Award
16:05-16:55

座長 (慶應義塾大学医学部循環器内科) 家田 真樹
座長 (順天堂大学大学院医学研究科循環器内科) 南野 徹
審査委員長 (日本医科大学武蔵小杉病院救急・総合診療センター総合診療科) 塚田 (哲翁) 弥生
審査委員 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹
審査委員 (杏林大学医学部付属病院循環器内科) 河野 隆志
審査委員 (日本大学医学部内科学系循環器内科学分野) 奥村 恭男

I-1 心不全患者における血中遊離カルニチン濃度と心血管イベント発症とのJカーブ関係
(東京山手メディカルセンター循環器内科) 大沼 隼一
渡部 真吾、横関 文弥、石田 凌大、重田 卓俊、
増田 怜、中村 玲奈、村上 輔、吉川 俊治、
鈴木 篤、薄井 宙男
(東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎

I-2 日本語所見に対応した胸部X線AIの高精度少量学習モデルの開発
(東京大学医学部医学科) 西森 駿介
(東京大学医学部附属病院循環器内科) 小寺 聡、馬場 凱渡、岸川 理紗、篠原 宏樹、
石田 純一、武田 憲彦

I-3 IMPELLA管理を要する心原性ショックにおける24時間腎機能変化と生命予後
(埼玉医科大学総合医療センター心臓内科) 家村 優
上嶋 紗瑛、北川 快、沼賀 美紀、橋本 淳貴、
三好晃太郎、米山 史華、志賀野航生、小形 円香、
奥田 希子、河原 勇貴、谷 昂大、村上 司、
安藤 敏行、阿部 拓朗、石原 嗣郎、小宮山英徳、
重城健太郎

- I-4 冠動脈疾患を合併した重症大動脈弁狭窄症の高比重リボタンパクの抗動脈硬化機能
 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 田村 洋平
 石川 哲也、新井 滯奈、米良 佳紘、竹山 太朗、
 志村 暢紀、宇梶 僚晟、山田 康太、久内 格、
 中原 志朗、板橋 裕史、小林さゆき、酒井 良彦、
 田口 功、宇佐神 潤
 (防衛医科大学校抗加齢血管内科) 池脇 克則

- I-5 心房細動に対して肺静脈隔離術後、肺静脈狭窄をきたした症例での肺実質の変化 スペクトルCTを用いた検討
 (千葉西総合病院循環器内科) 春木 匠悟
 三角 和雄
 (国際医療福祉大学医学部市川病院循環器内科) 船橋 伸禎

Case Report Award

17:05-17:55

座長 (帝京大学医学部内科学講座・循環器内科) 上妻 謙
 座長 (慶應義塾大学医学部放射線科学) 陣崎 雅弘
 審査委員長 (東京慈恵会医科大学循環器内科) 徳田 道史
 審査委員 (日本医科大学付属病院循環器内科) 浅井 邦也
 審査委員 (横浜栄共済病院循環器内科) 野末 剛
 審査委員 (横浜市立大学附属病院循環器内科学教室) 日比 潔

- I-6 ステロイド治療による心拍応答の改善を運動負荷心エコーで観察しえた心臓サルコイドーシスの一例
 (群馬大学医学部医学科) 勝井 悠里
 (群馬大学医学部附属病院循環器内科) 小坂橋紀通、石尾洵一郎、天内 土郎、長坂 崇司、
 高間 典明、鏡 和樹、小保方 優、石井 秀樹

- I-7 irAE心筋炎による心原性ショックに対してECPELLAサポート下の薬剤加療が有効であった1例
 (新東京病院心臓内科) 松本 佳大
 長沼 亨、朴澤 耕治
 (国立がん研究センター東病院循環器科) 今岡 拓郎

- I-8 卵円孔を介した両心系の塞栓症を経胸壁・経食道心エコー・造影CTで診断し一時致命的となるも救命しえた一例
 (草加市立病院循環器内科) 田代 燦
 松本 龍元、伊志嶺百々子、栗根 隆介、
 戸舎 稚詞、須藤 悠太、古浦 賢二、岡田 寛之、
 石丸 剛、稲垣 裕

- I-9 胸郭縮小に伴う左房拡張障害の一例
 (東京都健康長寿医療センター循環器内科) 宮内 祐弥
 二見崇太郎、小松 俊介、石川 譲治、原田 和昌

- I-10 冠攣縮性狭心症 (VSA) の確定診断後に突然死し、病理解剖で冠動脈への高度好酸球浸潤を認めた1例
 (茨城県厚生連JAとりで総合医療センター循環器内科) 村上 愛実

第Ⅱ会場

一般演題 セッション1 末梢血管/大動脈

9:00-9:50

座長（済生会横浜市南部病院循環器内科）菅野 晃靖
座長（聖マリアンナ医科大学循環器内科）小徳のぞみ
コメンテーター（三井記念病院循環器内科）小宮山浩大
コメンテーター（東京都済生会中央病院循環器内科）鈴木 健之

Ⅱ-1 透析患者におけるSCA盗血とBow hunter症候群の合併による意識消失発作の一例

（総合高津中央病院循環器内科） 石垣 成紘
中西 亨、高木 友誠、山内 靖隆、宮本 明

Ⅱ-2 膝窩動脈瘤に伴った亜急性下肢動脈血栓閉塞にIndigo systemと経カテーテル血栓溶解の併用が有効であった1例

（SUBARU健康保険組合太田記念病院心血管センター） 梶原 啓吾
湯澤 雅哉、渡邊 宏哉、齋藤理香子、伊藤 貢世、
齊藤 翔太、鮫島 雄祐、亀田柚妃花、矢部 顕人、
武中 宏樹、根本 尚彦、安齋 均

Ⅱ-3 超高齢の急性下肢動脈閉塞症患者に対してIndigo systemを使用し、良好な再開通を得た二例

（深谷赤十字病院） 久保田祥平
酒井 将人、上羽 卓、五十嵐宏伸、加藤 正樹、
藤井 孝成、松本 直大、田口 哲也、後藤 貢士、
関口 誠、宮嶋 玲人、長谷川修一

Ⅱ-4 遠隔期に発症したステントグラフト感染を契機とする胸部大動脈破裂の剖検例

（獨協医科大学日光医療センター循環器病センター） 大谷 直由
北原慶次郎
（獨協医科大学日光医療センター心臓・血管外科） 清水 理葉、松下 恭
（獨協医科大学日光医療センター心臓・血管・腎臓内科） 巴 崇、水口 聡、小野 翔也、杉山 拓史、
安 隆則、前嶋 康浩

Ⅱ-5 診断に苦慮した、腹部大動脈瘤下大静脈穿破の症例

（長岡赤十字病院循環器内科） 澤口 源太
藤田 俊夫、富田 任、松尾 聖、加瀬 真弓、
萩原 明梨

一般演題 セッション2 静脈

10:00-10:30

座長（東京医科大学病院循環器内科）山下 淳
座長（北里大学病院循環器内科）箸方 健宏
コメンテーター（横須賀共済病院循環器内科）菱刈 景一
コメンテーター（昭和医科大学藤が丘病院循環器内科）森 敬善

Ⅱ-6 巨大な右房内腫瘍として認めた切迫性奇異性塞栓の1例

（南長野医療センター篠ノ井総合病院循環器内科） 依田 望
田畑 裕章、矢彦沢久美子、小林 隆洋、
平森 誠一、丸山 拓哉

Ⅱ-7 下大静脈血栓症に対しCatheter-directed thrombolysisを施行し血流改善を得た若年男性の一例

(東京女子医科大学附属足立医療センター循環器内科)

森岡 佑太

中田 悠貴、畠山 岳、任 芝杏、山田 隆弘、

岩波 裕史、嵐 弘之

Ⅱ-8 農作業後に深部静脈血栓症を発症した重複下大静脈およびプロテインS活性低下の一例

(杏林大学医学部付属病院総合研修センター)

荒木 歩夢

(杏林大学医学部付属病院循環器内科)

菊池 華子、石橋 洋平、泉 圭一、舟橋紗耶華、

伊波 巧、合田あゆみ、高野 隆志、副島 京子

予防委員会企画セッション

10:40-12:10

座長 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門) 新家 俊郎

座長 (筑波大学医学医療系循環器内科) 石津 智子

循環器病予防Up to Date 一次予防から二次予防まで

8月10日は健康ハートの日～一般市民への疾患啓発の現状と課題～

(聖マリアンナ医科大学薬理学)

木田 圭亮

血圧管理Up to Date

(自治医科大学循環器内科)

星出 聡

家族性高コレステロール血症診療up to date

(順天堂大学浦安日の出キャンパス医療科学部臨床検査学科)

小倉 正恒

「神奈川モデル」を用いた急性冠症候群二次予防均てん化の取り組み

(北里大学病院循環器内科)

南 尚賢

心臓リハビリテーション Up-to-Date

(聖マリアンナ医科大学循環器内科)

明石 嘉浩

脳卒中・循環器病に関する国民意識の現状と予防啓発戦略の方向性

(日本医科大学武蔵小杉病院救急・総合診療センター総合診療科)

塚田 (哲翁) 弥生

ランチョンセミナー2

12:20-13:10

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長 (武蔵野赤十字病院)

足利 貴志

座長 (平塚共済病院)

大西 祐子

ACS

私にとっての臨床研究：冠動脈疾患診療を考え続けて

(枚方公済病院)

木村 剛

本邦におけるイメージングガイドPCI

(昭和医科大学病院)

新家 俊郎

教育セッションⅡ

13:20-14:50

座長（東京女子医科大学心臓病センター循環器内科） 山口 淳一
座長（三井記念病院循環器内科） 田邊 健吾

僧帽弁閉鎖不全症に対するアプローチ

僧帽弁治療介入における心臓エコー評価

（慶應義塾大学医学部臨床検査科） 鶴田 ひかる

僧帽弁閉鎖不全症に対する非薬物療法

（東海大学医学部内科学系循環器内科学） 大野 洋平

ロボットを通して考える僧帽弁閉鎖不全症に対する弁形成術

（東京科学大学大学院医歯学総合研究科心臓血管外科） 藤田 知之

デザートセミナー 2

15:00-15:50

共催：ニプロ株式会社

座長（武蔵野赤十字病院）

足利 貴志

DCBの最新知見－臨床と病理の視点から－

PCIにおけるステントレス治療の役割

－sequent pleaseの長期成績－

（東邦大学医療センター大橋病院） 飯島 雷輔

DCB治療後の血管反応を考える

（横浜市立大学） 大塚 文之

Student Award

16:05-16:55

座長（北里大学医学部循環器内科学） 阿古 潤哉

座長（東邦大学大学院医学研究科循環器内科学） 池田 隆徳

審査委員長（信州大学医学部循環器内科学教室） 桑原 宏一郎

審査委員（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科） 原 英彦

審査委員（防衛医科大学校循環器内科） 足立 健

審査委員（東京大学医科学研究所附属病院循環器内科） 武田 憲文

Ⅱ-9 睡眠時無呼吸症候群症例におけるCPAP導入後の寝落ちが何を意味するかを考える

（群馬大学大学院医学系研究科医学部医学科）

谷中 晴香

（群馬大学大学院医学系研究科循環器内科）

高間 典明、磯部いの八、石尾洵一郎、谷内 亮太、

天内 士郎、石橋 洋平、長坂 崇司、石井 秀樹

Ⅱ-10 大動脈弁冠尖直下の中隔領域に局限する虚血病変を認めた突然死の2例

（昭和医科大学医学部法医学講座）

矢島 瑞己

中村 恵里、沼尻 祐貴、草野麻衣子、藤城 雅也、

松山 高明

Ⅱ-11 開心術後に残存した心室中隔欠損に対し経皮的心室中隔欠損閉鎖術を施行した一例

（東邦大学医学部医学科）

柴田 萌花

（東邦大学医療センター大橋病院循環器内科）

清水 貴之、浅見 雅子、橋本 剛、新倉 寛輝、

林 典行、池田 長生、國正 妙子、中村啓二郎、

飯島 雷輔、原 英彦

II-12 左室血栓に対する直接経口抗凝固薬(DOAC)とワルファリンの有効性と安全性比較：無作為化比較試験の統合解析

(東京科学大学医学部医学科)	浅沼 禎
(在沖縄米国海軍病院)	比留間百合子
(Department of Medicine, Mount Sinai Morningside and West, Icahn School of Medicine at Mount Sinai)	渡邊 淳之
(Cardiology Division, Massachusetts General Hospital, Harvard Medical School)	工野 俊樹

II-13 肺動脈周囲脂肪と肺動脈壁厚及び推定肺動脈収縮期圧への影響 スpektralCTを用いた正常例での検討

(国際医療福祉大学医学部医学科)	秋吉 美佳
(千葉西総合病院循環器内科)	三角 和雄
(国際医療福祉大学医学部市川病院循環器内科)	船橋 伸禎

Resident Award

17:05-17:55

座長 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学)	小林 欣夫
座長 (自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科)	藤田 英雄
審査委員長 (筑波大学医学医療系循環器内科)	石津 智子
審査委員 (昭和医科大学医学部内科学講座循環器内科学部門)	新家 俊郎
審査委員 (東京女子医科大学心臓病センター循環器内科)	山口 淳一
審査委員 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科)	田口 功

II-14 大動脈内バルーンパンピングによる血行動態悪化を認めたたこつば型心筋症の1例

(東京科学大学循環器内科)	山内 康平
	磯谷 善隆、荒木 誠、大森 真理、平澤 憲祐、
	落田 美瑛、米津 太志、笹野 哲郎
(草加市立病院循環器内科)	松本 龍元
(災害医療センター循環器内科)	野崎小百美
(平塚共済病院循環器内科)	吉川 宏

II-15 有意な冠動脈狭窄病変を有さない出血性心筋梗塞の一剖検例

(東京都健康長寿医療センター循環器内科)	壺田 知暉
	鳥羽 梓弓、吉村 沙織、齋藤 義弘、両角 愛、
	十菱 千尋、二見崇太郎、小松 俊介、藤本 肇、
	石山 泰三、坪光 雄介、碓井 伸一、石川 譲治、
	原田 和昌
(東京都健康長寿医療センター病理診断科)	神野 聖也、新井 富生

II-16 心臓サルコイドーシス患者における、ステロイド導入後のFDG集積に関連する因子の検討

(北里大学病院研修統括部)	平本 裕礎
(北里大学病院循環器内科学)	鍋田 健、瀧上 悠、石井 俊輔、阿古 潤哉

II-17 COVID-19感染を契機にVT stormを発症した先天性QT延長症候群の一例

(国立国際医療センター循環器内科)	青木 裕之
	和田 瑞貴、久保田修司、榎本 善成、岡崎 徹、
	山本 正也、原 久男、廣井 透雄

II-18 先天性血友病Aを合併した左主幹部病変の急性冠症候群に対して冠動脈バイパス術を施行した一例

(山梨大学医学部附属病院臨床研修センター)	萩原 諒介
(山梨大学医学部附属病院循環器内科)	植松 学、市川 優真、武井 俊樹、江口 実佑、
	大森 一平、山田 亮太、堀越 健生、吉崎 徹、
	渡邊 陽介、出山順太郎、小林 剛、中村 和人、
	中村 貴光、佐藤 明

第Ⅲ会場

一般演題 セッション3 虚血性心疾患 1

9:00-10:00

座長 (東京慈恵会医科大学循環器内科) 小川 崇之
座長 (自治医科大学臨床研究センター/循環器内科) 星出 聡
コメンテーター (慶應義塾大学医学部循環器内科) 沼澤 洋平
コメンテーター (横浜南共済病院循環器内科) 藤井 洋之

- Ⅲ-1 左回旋枝起始部冠動脈瘤に対してshared decision makingによって経カテーテル治療を施行した一例
(東邦大学医療センター大橋病院循環器内科) 塚越 友月
横森 広樹、新倉 寛輝、池田 長生、飯島 雷輔、
原 英彦
- Ⅲ-2 上行大動脈から左冠動脈主幹部に及ぶ血栓による心原性ショックに対し急性期治療を乗り切りVADへ繋げた一例
(済生会横浜市東部病院循環器内科) 島津慶一郎
伊藤 良明、藤井陽太郎、谷中 夏海、村井 篤弥、
深川 知哉、山口 航平、堤 正和、毛利 晋輔、
小林 範弘
- Ⅲ-3 30年前のBMSに生じたCalcified neoatherosclerosisをmulti-modality imagingで評価して治療した一症例
(横浜南共済病院循環器内科) 一色 棕太
山口 正男、柳原 奈桜、池田 博、酒井 瑛子、
清水 厚哉、関川 雅裕、島田 博史、加藤 信孝、
鈴木 秀俊、清水 雅人、藤井 洋之、鈴木 誠
(東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎
- Ⅲ-4 待機的PCI後心筋障害に対するエキシマレーザーの予防的効果についての検討
(国際医療福祉大学三田病院循環器内科) 木村 茂樹
藤井 寛之、山口 幸弘、磯部 更紗、岩澤 仁、
田村 雄一、合屋 雅彦
- Ⅲ-5 特発性冠動脈解離に対して保存加療または血行再建を選択し救命できた2症例
(筑波大学附属病院循環器内科) 鮎澤 祥吾
寺内 泰観、矢口 拓実、川松 直人、平谷 太吾、
渡部 浩明、星 智也、石津 智子
- Ⅲ-6 LAD入口部の中等度病変に対するFFRによりLMTに血管解離を生じ、DES留置によりbail outした一例
(千葉西総合病院) 金子 彩
三角 和雄、青木 直人、倉持 雄彦、和泉 直子、
飯塚 大介、牧野 仁人、新谷 政樹、田口 重文、
佐野 拓真、赤座 慎

一般演題 セッション4 虚血性心疾患2

10:15-11:05

座長 (東京山手メディカルセンター循環器内科) 薄井 宙男
座長 (群馬県済生会前橋病院循環器内科) 土屋 寛子
コメンテーター (草加市立病院循環器内科) 稲垣 裕
コメンテーター (心臓血管研究所付属病院循環器内科) 岸 幹夫

Ⅲ-7 高度な屈曲と石灰化のLCX入口部病変に対し、高圧バルーン拡張と5FrガイドプラスでDES留置に成功した一例

(千葉西総合病院) 金子 彩
三角 和雄、倉持 雄彦、青木 直人、和泉 直子、
牧野 仁人、田口 重文、佐野 拓真、赤座 慎、
飯塚 大介、新谷 政樹

Ⅲ-8 急性心筋梗塞後前乳頭筋断裂による僧帽弁閉鎖不全症に対し、IMPELLA留置下で僧帽弁置換術を施行した一例

(市立青梅総合医療センター循環器内科) 山本 航
鈴木 麻美、坂本 達哉、岸上 哲也、阿部 史征、
埴本 優太、長嶺 竜宏、宮崎 徹、栗原 顕、
小野 裕一、大友建一郎
(市立青梅総合医療センター心臓血管外科) 染谷 毅
(東京科学大学循環制御内科学) 笹野 哲郎

Ⅲ-9 器質的狭窄との鑑別に難渋し、IVUSでの評価とアセチルコリン負荷試験を繰り返し、DES留置を決断した一例

(埼玉医科大学総合医療センター) 吉川 公基
河原 勇貴、堀澤 優介、内藤珠美乃、上嶋 紗瑛、
米山 史華、沼賀 美紀、橋本 淳貴、北川 快、
三好晃太郎、小形 円香、谷 昂大、奥田 希子、
志賀野航生、家村 優、村上 司、阿部 拓朗、
安藤 敏行、小宮山英徳、石原 嗣郎、重城健太郎

Ⅲ-10 疣贅塞栓による急性下壁心筋梗塞で受診した感染性心内膜炎の一例

(横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 大方信一郎
熊谷 勇太、廣瀬 健、岩佐 一輝、加藤 祐樹、
川地 祐輔、安井 由美、喜舎場順一、小田 惇仁、
新井 紘史、村田 和也、佐川雄一郎、浅野 充寿、
志村 吏左、有馬 秀紀、倉林 学、山内 康熙
(東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎

Ⅲ-11 LMTからLADに留置されたステントにjailされたLCxの入口部に冠攣縮を生じた一例

(平塚共済病院循環器内科) 中田 光宥
西川陽一郎、松本 拓己、津野 航、吉川 宏、
河本 梓帆、仁井田崇志、秋吉 基光、荒木 恵子、
岩井 慎介、小林 一士、大西 祐子
(東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎

一般演題 セッション5 虚血性心疾患3

11:20-12:10

座長（神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科） 福井 和樹

座長（獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科） 和久隆太郎

コメンテーター（武蔵野赤十字病院循環器内科） 李 哲民

コメンテーター（新百合ヶ丘総合病院循環器内科） 櫻井 馨

Ⅲ-12 心電図非同期造影冠動脈CT検査により、迅速に診断、血行再建に至った一例

（みなみ野循環器病院循環器内科） 川田健太郎

幡 芳樹、江島浩一郎、松三 博明

（八王子みなみ野心臓リハビリテーションクリニック） 二階堂 暁

Ⅲ-13 ペーシング不全を契機に虚血性病変が明らかになった心サルコイドーシスの一例

（大久保病院循環器内科） 江口 優太

森山 優一、竹田 康佑、秋津 克哉、岡野 喜史、

鈴木 和仁

Ⅲ-14 PCI中の心停止に対して経皮的心肺補助装置(PCPS)導入後にIVC損傷を呈し、止血戦略の判断に苦慮した一例

（墨東病院循環器科） 吉武沙和佳

宮本絢一朗、柏木 祐俊、宮本欧史朗、松本 万理、

石塚 祐紀、須藤 篤史、道浦 悠、伊藤実希子、

長友 理樹、青山 拓令、長塩 憲司、平野 仁士、

大橋 浩一、高山 陽、市原 登、黒木 識敬

Ⅲ-15 S T上昇型急性心筋梗塞を合併する胃穿孔に対して緊急開腹術を優先して行い、翌日に血行再建術を行った一例

（練馬光が丘病院） 鴨志田 将

齊藤 遥平、住本 陸、橋元由紀子、伴 聡一郎、

齊藤 大樹、間瀬 卓顕、山本 慶、佐藤 陽、

荒尾憲司郎

Ⅲ-16 前壁STEMIに伴う左室内血栓に対するDOACの予防的限界とワルファリンによる治療効果を示した一例

（日本大学病院循環器内科） 杉山 隆至

瀬戸口俊貴、松永 悠路、門傳 昌樹、八木 司、

深町 大介、鷲尾 武彦、松本 真明、横山 勝章、

松本 直也

（日本大学医学部内科学系循環器内科学） 奥村 恭男

ランチョンセミナー3

12:20-13:10

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長（武蔵野赤十字病院循環器内科） 永田 恭敏

知っておきたい 心房細動治療の進化

高齢化社会で変わる心房細動治療

（新百合ヶ丘総合病院循環器内科） 高橋 良英

シンプルで安全なパルスフィールドアブレーションを目指して

（東京科学大学病院循環器内科） 宮崎 晋介

学術委員会企画セッション

13:20-14:50

座長（東京科学大学循環制御内科学） 笹野 哲郎

座長（日本大学医学部内科学系循環器内科学分野） 奥村 恭男

不整脈最新ガイドラインに学ぶ

2024年フォーカスアップデート版不整脈治療ガイドラインから探る“これからの不整脈診療”

（日本医科大学付属病院循環器内科） 岩崎 雄樹

2025年携帯型JHRS/JCS/装着型心電計のコンセンサスステートメント

（東邦大学大学院医学研究科循環器内科学） 池田 隆徳

最新ガイドラインおよびステートメントから学ぶデバイス治療！～2025年に知っておくべきICD/CRT/WCDの知識とは？～

（千葉大学大学院医学研究院循環器内科学） 近藤 祐介

一般演題 セッション6 虚血性心疾患4

15:00-15:50

座長（昭和病院循環器内科）

田中 茂博

座長（筑波大学附属病院循環器内科） 平谷 太吾

コメンテーター（市立青梅総合医療センター循環器内科） 栗原 顕

コメンテーター（群馬大学医学部附属病院循環器内科） 反町 秀美

Ⅲ-17 特発性冠動脈解離を契機に診断された線維筋性異形成の一例

（日本大学病院循環器内科）

小池 晃史

門傳 昌樹、松永 悠路、瀬戸口俊樹、大塚 直人、

八木 司、鈴木 康之、鷺尾 武彦、松本 真明、

横山 勝章、深町 大介、松本 直也

（日本大学医学部附属板橋病院）

奥村 恭男

Ⅲ-18 造影CTが診断に寄与した若年女性のMINOCA

（聖隷横浜病院心臓血管センター内科）

山中遼太郎

仙波 貴之、笠間 武瑠、長谷川和喜、富島 佳之、

中島 啓介、河合 慧、新村 剛透、芦田 和博

（聖隷横浜病院心臓血管センター外科）

清原 久貴、乗松 東吾

Ⅲ-19 練炭自殺による一酸化炭素中毒を契機に急性冠症候群を発症し、PCIと高圧酸素療法にて救命が得られた1例

（群馬大学医学部附属病院循環器内科）

谷内 亮太

天内 士郎、石尾洵一郎、石橋 洋平、長坂 崇司、

小保方 優、高間 典明、石井 秀樹

Ⅲ-20 低心機能のsevere ASIに対し、LADのCTOへの血行再建を先行して行ったことで安全にTAVIが行えた1例

（獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科）

永野 律郎

和久隆太郎、廣瀬 優、小手川太郎、前田甲雄太、

近藤 侃、鈴木立二郎、橋本 涼太、西野 節、

佐久間理吏、豊田 茂

（那須赤十字病院循環器内科）

景山 倫也

Ⅲ-21 血管造影で狭窄像のない対角枝まで解離が及んだ、左前下行枝の特発性冠動脈解離の1例

（横浜市立大学附属病院循環器内科）

山本 侑慶

大塚 文之、石井 怜、関矢 圭祐、阿部茉莉愛、

堀米 旭、児玉 翔、鈴木 徹、小村 直弘、

細田 順也、小西 正紹、石上 友章、日比 潔

デザートセミナー 7

16:00-16:50

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長（昭和医科大学病院）

新家 俊郎

心室性機能性MRに対するMitraClipの治療と介入のタイミング

VFMRに対するMitraClipの効果と薬物療法

（帝京大学医学部附属病院） 荒川 雅崇

M-TEERの適応症例を見逃さない！心室性機能性僧帽弁逆流の評価方法

（榊原記念病院） 泉 佑樹

第Ⅳ会場

一般演題 セッション7 心臓・腫瘍/腫瘍循環器

9:00-10:00

座長（順天堂大学医学部循環器内科） 宮崎彩記子

座長（東邦大学医学部/東邦大学医療センター大森病院循環器内科） 中西 理子

コメンテーター（横浜市立みなと赤十字病院循環器内科） 浅野 充寿

コメンテーター（東邦大学医療センター大森病院循環器内科） 橋本 英伸

Ⅳ-1 偶発的に発見された右房内炎症性筋線維芽細胞腫瘍の一例

（総合東京病院循環器内科）

小澤 愛美

土山 晃弘、河俣 僚太、都築 一平、牧野 憲嗣、

河野 真美、滝村 英幸、中野 雅嗣、塚原 玲子

Ⅳ-2 FDG-PET/CTで高集積を示した右室心臓粘液腫の一例 - 稀な発生部位と診断的意義の検討 -

（帝京大学医学部附属病院心臓血管外科学講座）

吉田 理紗

植原 裕雄、黒澤健一郎、安斎 渉、御子柴晴樹、

長嶺 嘉通、津村 康介、陳 軒、尾澤 直美、

迎 洋輔、内山 雅照、今水流智浩、下川 智樹

Ⅳ-3 粘液腫が疑われた右房内血栓の一例

（豊島病院）

高橋 巧宅

吉田 祥子、町田 宗将、川勝 紗樹、仲村 太一、

藤波 竜也、中島 淳、畑 明宏

（東京科学大学病院）

笹野 哲郎

Ⅳ-4 偶発的に発見された乳頭状線維弾性腫に対して外科的治療を行なった1例

（昭和医科大学藤が丘病院循環器内科）

井上広太郎

曾根 浩元、土至田 勉、佐藤 督忠、磯 良崇、

江波戸美緒、鈴木 洋

（昭和医科大学藤が丘病院心臓血管外科）

上野 洋資、廣田 真規

Ⅳ-5 右室二腔症の診断で長期経過観察されていたが、稀な心臓血管腫であった一例

（東邦大学医療センター大森病院東邦大学医学部内科学講座循環器内科学分野）

飯田 健太

大久保 亮、藤野 紀之、中西 理子、橋本 英伸、

小池 秀樹、矢部 敬之、佐地 真育、木内 俊介、

天野 英夫、久武 真二、池田 隆徳

（東邦大学医療センター大森病院東邦大学医学部外科学講座心臓血管外科学分野）

吉川 翼、水野 友裕、藤井 毅郎

（東邦大学医療センター大森病院東邦大学医学部病院病理学講座）

密田 亜希、栃木 直文

Ⅳ-6 Osimertinibによる肺血栓塞栓症で心停止に至るも救命できた一例

（東京慈恵会医科大学附属柏病院循環器内科）

西村 遼太

山崎 吉人、佐々木 裕、齋藤恵理子、中山 稜、

新島 旭、福島 啓介、横山 正明、木下 浩司、

木村 悠、小武海公明

（東京慈恵会医科大学附属病院）

徳田 道史

一般演題 セッション8 弁膜症1

10:15 -10:45

座長 (日本大学病院循環器内科)	深町 大介
座長 (順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科)	相川 忠夫
コメンテーター (亀田総合病院循環器内科)	植島 大輔
コメンテーター (慶應義塾大学病院循環器内科)	岩田 樹里

IV-7 炭酸ガス造影が有用であった大腿動脈のアクセス不良に腎機能障害を合併したTAV in SAVの一例
(東京慈恵会医科大学附属病院循環器内科) 樽田 雅

奥山 虎章、宇野 剛輝、吉田 純、小川 崇之、
儀武 路雄、大森 慎子、大木 隆生、徳田 道史

IV-8 大動脈弁置換術後の機械弁が血栓によりスタックし致命した一例
(日本医科大学多摩永山病院循環器内科) 千葉みさこ

齋藤 恒徳、橘 貴大、佐藤 達志、菅原 一樹、
中野 博之、小谷英太郎
(日本医科大学大学院医学研究科循環器内科学) 浅井 邦也

IV-9 機能的重症僧帽弁閉鎖不全症の心原性ショックにImpella挿入下経皮的僧帽弁クリップ術が有効であった一例

(武蔵野赤十字病院循環器科) 小井土文香

馬場理紗子、高熊 朗、黄 惠、吉光寺直哉、
松田 和樹、大平 麻貴、小田中勇樹、加地 大悟、
照井 麻央、堀江 知樹、長瀬 将、三澤 透、
宮崎 亮一、金子 雅一、李 哲民、永田 恭敏、
野里 寿史、足利 貴志

一般演題 セッション9 弁膜症2

11:20-12:10

座長 (群馬大学医学部附属病院循環器内科)	小保方 優
座長 (東京科学大学循環器内科)	菅野 義典
コメンテーター (三井記念病院循環器内科)	田中 旬
コメンテーター (土浦協同病院循環器内科)	臼井 英祐

IV-10 一過性僧帽弁閉鎖不全症に対して経皮的僧帽弁接合不全修復術が奏功した一例
(昭和医科大学病院循環器内科) 大島 研

豊崎 瑛士、鈴木 健悟、片桐 順史、田中 秀彰、
大石 庸介、中村 友哉、小崎 遼太、福岡 裕人、
望月 泰秀、新家 俊郎

IV-11 ヘパリン起因性血小板減少症を合併した重症大動脈弁狭窄症の一例
(新潟市民病院) 瀬尾 友太

佐藤 史弥、苅部 哲也、内藤 大智、原 悠輔、
秋山 琢洋、林 由香、柏 麻美、田中 孔明、
保坂 幸男、尾崎 和幸、高橋 和義

IV-12 アルコール多飲歴を有する僧帽弁位人工弁再々置換症例
(船橋市立医療センター心臓血管センター循環器内科) 笠原 大暉

青山 里恵、堀江 華奈、須藤 洋尚、岩田 曜、
石脇 光、沖野 晋一、福澤 茂

IV-13 右小切開完全内視鏡下での僧帽弁形成術の際に、経僧帽弁的に中隔心筋切除を施行した症例
(東京慈恵会医科大学心臓外科) 辻本 貴紀

IV-14 僧帽弁狭窄症に対する僧帽弁置換術後にワルファリンを怠薬し、左房内に巨大血栓を生じた一例

(埼玉病院循環器内科)

赤井 駿

佐藤 篤志、佐久間一也、片山 大樹、平山 愛子、

井合 渉、栗原 和人、磯田 徹、丹羽 直哉、

田中 宏明、鶴見 昌史、小野 智彦、松村 圭祐

ランチョンセミナー 4

12:20-13:10

共催：Ultragenyx Japan株式会社

座長（北里大学医学部循環器内科学） 阿古 潤哉

見逃していませんか？循環器内科医が診察している希少疾患

～虚血性心疾患に潜む家族性高コレステロール血症ホモ接合体（HoFH）～

(順天堂大学大学院医学研究科循環器内科)

岩田 洋

(東京家政大学栄養学部栄養学科)

佐藤加代子

会長企画セッションⅡ

13:20-14:50

座長（聖マリアンナ医科大学循環器内科） 明石 嘉浩

座長（心臓画像クリニック飯田橋） 寺島 正浩

循環器疾患における画像診断の進歩

心筋組織性状評価における心臓MRIの有用性

(心臓画像クリニック 飯田橋循環器内科)

高村 千智

心臓CTを臨床に活かす！～虚血性心疾患から心筋評価まで～

(横浜市立大学大学院学術研究科放射線診断学教室)

加藤 真吾

虚血・非虚血性心疾患における心臓核医学検査の有用性

(日本大学病院循環器内科)

松本 直也

デザートセミナー 3

15:00-15:50

共催：小野薬品工業株式会社／アストラゼネカ株式会社

座長（榊原記念病院循環器内科） 中山 敦子

集中治療室から始める心不全の至適薬物療法

(東京女子医科大学病院循環器内科)

南 雄一郎

デザートセミナー 8

16:00-16:40

共催：ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社

座長（榊原記念病院） 七里 守

選ばれるには理由がある -DETで迷わない-

Cut & Drug therapy in coronary artery disease ～DCBの効果を最大限にするPreparationとは～

(東京慈恵会医科大学附属第三病院)

吉田 律

EVTの最新の知見-外科医の立場から-

(東京科学大学)

山本 洋平

第V会場

一般演題 セッション10 不整脈1

9:00-10:00

座長 (小田原循環器病院循環器内科/昭和医科大学医学部循環器内科) 西崎 光弘

座長 (埼玉医科大学国際医療センター心臓内科) 松本 和久

コメンテーター (AOI国際病院循環器内科) 川端美穂子

コメンテーター (横須賀共済病院循環器センター) 田中 泰章

V-1 副収縮による心室性期外収縮によって死亡転帰を辿った持続性心房細動アブレーション後の1例

(昭和医科大学病院循環器内科) 小柳 唯

中村 友哉、石川 貴将、高井 優希、宮崎はるか、

千野 沙織、新井 脩平、浅野 拓、新家 俊郎

V-2 パルスフィールドアブレーションによる左心房後壁隔離における電位遺残に関する検討

(武蔵野赤十字病院循環器内科) 吉光寺直哉

永田 恭敏、高熊 朗、馬場理紗子、黄 惠、

小井土文香、松田 和樹、大平 麻貴、小田中勇樹、

加地 大悟、照井 麻央、堀江 知樹、長瀬 将、

三澤 透、金子 雅一、李 哲民、野里 寿史、

足利 貴志

V-3 パルスフィールドで肺静脈隔離後に上大静脈からのTriggered activityにより心房細動を生じた一例

(獨協医科大学病院心臓・血管内科/循環器内科) 黒崎 時生

飯田圭太生、江口 皓子、安宅威久男、井上 弘貴、

齋藤 郁太、北川 善之、南 健太郎、中島 敏明、

豊田 茂

V-4 WATCHMAN留置後にデバイス周囲を巡回する心房頻拍に対して、アブレーションstrategyに苦慮した1例

(上尾中央総合病院循環器内科) 杉山 晴紀

林 健太郎、佐橋 秀一、李 勅熙、北村 健、

一色 高明、小橋 啓一、中野 将孝、中島 祥文、

増田新一郎、緒方 信彦、谷本 周三

V-5 アブレーション後、プロタミンによるアナフィラキシーショックと冠攣縮性狭心症を呈したKounis症候群の1例

(横浜市立大学附属病院循環器内科学) 児玉 翔

(神奈川県立循環器呼吸器病センター循環器内科) 石井 一帆、木根 佑奈、小嶋 寛之、鍵本美奈子、

井口 公平、鈴木 弘之、福井 和樹

V-6 左上肺静脈内Basket型でのPFA後に左冠動脈前下行枝に局所性冠攣縮を来した一例

(千葉メディカルセンター循環器内科) 生富 公康

山崎 正雄、野村 秀仁、瀧澤 良哉

一般演題 セッション11 不整脈2

10:15-11:15

座長 (横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 山内 康熙
座長 (防衛医科大学校病院循環器内科) 池上 幸憲
コメンテーター (亀田総合病院循環器内科) 水上 暁
コメンテーター (武蔵野赤十字病院循環器内科) 金子 雅一

V-7 器質的心疾患の鑑別が重要であったHis束近傍起源心室頻拍の1例

(自治医科大学附属病院)

丹羽 薫那
渡邊 裕昭、鈴木 規泰、佐藤 雅史、桂田 健一、
菊尾 七臣

V-8 HITに伴う左心耳血栓を認めワーファリンとアルガトロバンを用いて心房細動のアブレーションを実施した一例

(広尾病院循環器内科)

西明 晃太
水沼 吉章、深水 誠二、土山 高明、北條林太郎、
高橋 正雄、笠野 健介、吉田 精孝、新井 智之、
鯨岡 裕史、山岡広一郎、佐々木高史、砂川 昌隆、
三浦麻利衣、和泉 碧葉、鈴木千紗都、松山 恭平

V-9 疼痛を伴う間欠性左脚ブロックの症例

(川崎市立多摩病院)

木下 友博
本田 圭、田中 直、福村 健太、鯨島 未奈、
高木 宗平、中山 由衣、鈴木 知美、川越 康仁、
樋熊 拓未

V-10 若年女性の嘔吐を契機とした症候性徐脈に対し永久ペースメーカー適応に苦慮した一例

(虎の門病院循環器センター内科)

馬瀬 雄樹
伊東 秀崇、小西 明範、笹島 陽香、土屋 亮、
橋本 昌樹、大森 奈美、森瀬 昌裕、小宮山知夏、
播磨 綾子、山口 徹雄、西山 信大、藤本 陽、
児玉 隆秀

V-11 長期持続性心房細動に対してCARTOFINDERとK-CFAEアブレーションが有効であった1例

(市立青梅総合医療センター循環器内科)

岸上 哲也
埜本 優太、山本 航、坂本 達哉、阿部 史征、
長嶺 竜宏、宮崎 徹、鈴木 麻美、栗原 顕、
小野 裕一、大友建一郎
(東京科学大学循環器内科) 笹野 哲郎

V-12 心筋梗塞慢性期に発症したPurkinje関連心室頻拍の一例

(君津中央病院循環器内科)

高山 晃平
石村 昌之、山本 雅史、氷見 寿治
(千葉大学医学部附属病院循環器内科) 小林 欣夫

一般演題 セッション12 デバイス

11:30-12:10

座長（国際医療福祉大学三田病院心臓血管センター） 合屋 雅彦
座長（千葉大学大学院医学研究院不整脈先端治療学） 仲野 美代
コメンテーター（東京科学大学循環器内科） 田尾 進
コメンテーター（自治医科大学附属さいたま医療センター循環器内科） 林 達哉

V-13 ロングリードによる腹部ペースメーカー移植術で放射線治療が可能となった進行食道癌の一例

（川崎市立井田病院内科） 長田 大輝
（川崎市立井田病院循環器科） 好本 達司、清水 規隆
（川崎市立井田病院心臓血管外科） 森 厚夫
（川崎市立井田病院緩和ケア内科） 杉 真恵

V-14 リード接続不良によるペースメーカ不全の一例

（町田市民病院循環器内科） 田中 裕郷
（北里大学医学部循環器内科学） 小林 周平、石末 成哉、深谷 英平、阿古 潤哉
（北里大学病院循環器内科） 内田 大地

V-15 カテーテルアブレーション時に右総腸骨静脈を穿孔し、カバードステントによりベイルアウト治療を行った一例

（武蔵野赤十字病院循環器内科） 高熊 朗
足利 貴志、野里 寿史、永田 恭敏、李 哲民、
金子 雅一、三澤 透、長瀬 将、堀江 知樹、
照井 麻央、加地 大悟、小田中勇樹、大平 麻貴、
松田 和樹、吉光寺直哉、黄 惠、馬場理紗子
（宮崎クリニック） 宮崎 亮一

V-16 経皮的左心耳閉鎖術後に難治性巨大デバイス血栓が生じた一例

（東京医科大学病院循環器内科） 佐藤新之介
笠原 智大、長谷川皓紀、寺澤 無量、山下 淳、
武井 康悦、里見 和浩、金澤 英明

ランチョンセミナー5

12:20-13:10

共催：日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
座長（武蔵野赤十字病院循環器内科） 野里 寿史

心不全の薬物治療

最善の心不全薬物治療を考える - ガイドライン改訂をめぐる議論を踏まえて -

（杏林大学医学部循環器内科学） 河野 隆志

循環器病対策推進セッション

13:20 -14:50

座長（信州大学医学部循環器内科学教室） 桑原宏一郎
座長（自治医科大学地域医療学センター公衆衛生学兼循環器内科学） 桑原 政成
ディスカッサント（日本医科大学付属病院心臓血管集中治療科） 山本 剛
ディスカッサント（榊原記念病院） 磯部 光章
ディスカッサント（群馬大学医学部附属病院循環器内科） 小保方 優

脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業：脳卒中分野とのコラボレーション

東京における脳卒中チームの取り組み

（日本医科大学大学院医学研究科神経内科学分野） 須田 智

心・脳連携をどのように進めるか - 埼玉医科大学国際医療センターの現状と工夫 -

（埼玉医科大学国際医療センター脳血管内治療科） 神山 信也

ぐんまのうしんの役割 -脳卒中と心臓病の連携-
(群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野)

石井 秀樹

デザートセミナー 4

15:00-15:50

共催：株式会社フィリップス・ジャパン

座長 (榊原記念病院)

七里 守

座長 (相模原協同病院)

杉本 篤彦

Philipsモダリティを活用した心不全評価

AI技術を活用した超音波診断装置の心不全評価最前線

(三井記念病院循環器内科/臨床検査部)

田中 旬

フィリップスMR/CT装置と画像解析ソリューションによる心不全診断/治療アプローチ

(心臓画像クリニック飯田橋)

田邊 翔

デザートセミナー 9

16:00-16:50

共催：ノボ ノルディスクファーマ株式会社

座長 (千葉大学大学院医学研究院循環器内科学) 小林 欣夫

循環器内科医が知るべきGLP-1受容体作動薬の新たな知見と治療戦略

循環器内科から見たセマグルチドのエビデンスと積極的活用

(森山記念病院循環器センター)

清末 有宏

生物統計セミナー

17:00-18:00

座長 (群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野) 石井 秀樹

座長 (東京科学大学循環器内科)

米津 太志

循環器医に求められる統計手法

薬事開発および臨床研究支援の現場からみる生物統計の役割

(群馬大学医学部附属病院先端医療開発センター)

大山 善昭

循環器研究と臨床に活かす統計学：査読対応とガイドライン解釈

(獨協医科大学日光医療センター心臓・血管・腎臓内科)

前嶋 康浩

第Ⅵ会場

一般演題 セッション 13 心筋炎・心筋症 1

9:00-9:50

座長 (平塚共済病院循環器科)	小林 一士
座長 (帝京大学医学部附属病院循環器内科)	三浦 瑞樹
コメンテーター (市立青梅総合医療センター循環器内科)	宮崎 徹
コメンテーター (東海大学医学部付属八王子病院循環器内科)	河村 洋太

Ⅵ-1 PRKG1遺伝子変異による遺伝性胸部大動脈疾患(Aortic Aneurysm, Familial Thoracic-8)

(土浦協同病院循環器内科)

細川 凱生

金地 嘉久、臼井 英祐、上野 弘貴、左山 耕大、

渡邊 匠、渡邊 崇弘、村上 理子、角田 恒和

(東京科学大学病院)

米津 太志、笹野 哲郎

Ⅵ-2 II型呼吸不全を伴う心不全を契機に診断された抗ミトコンドリア抗体陽性筋炎の一例

(東京慈恵会医科大学葛飾医療センター循環器内科)

石田 貴則

白崎 圭輔、新谷健太郎、櫻井竜太郎、河津 圭佑、

大瀬戸宏綱、板倉 良輔、山下 省吾、南井 孝介、

徳田 道史

Ⅵ-3 尿路感染症と十二指腸炎に伴いたこっほ型心筋症を発症し、敗血症性ショック及び心原性ショックを来した一例

(平塚共済病院心臓センター循環器科)

松本 拓己

大西 祐子、小林 一士、岩井 慎介、荒木 恵子、

秋吉 基光、仁井田崇志、河本 梓帆、吉川 宏、

津野 航、中田 光宥、西川陽一郎

(東京科学大学)

笹野 哲郎

Ⅵ-4 心原性脳塞栓症を来したたこっほ型心筋症の一例

(豊島病院循環器内科)

町田 宗将

川勝 紗樹、高橋 巧宅、吉田 祥子、仲村 太一、

藤波 竜也、中島 淳、畑 明宏

Ⅵ-5 心サルコイドーシス発症前に原因不明の脊髄症状を呈していた1例

(榊原記念病院循環器内科)

舟木 孝志

浅野 奏、萩谷 健一、細谷 弓子、七里 守、

磯部 光章

一般演題 セッション 14 心筋炎・心筋症 2

10:15-11:15

座長 (東京医科大学循環器内科)	小菅 寿徳
座長 (日本医科大学循環器内科)	野間さつき
コメンテーター (災害医療センター循環器内科)	大野 正和
コメンテーター (虎の門病院循環器センター内科)	山口 徹雄

Ⅵ-6 循環器内科以外の診療科で発症した高齢たこっほ心筋症群の発症状況と将来医師となった時の心がけ

(国際医療福祉大学医学部医学科)

崔 知慧

(国際医療福祉大学医学部市川病院循環器内科)

船橋 伸禎、野島 永司

VI-7 持続性心室頻拍、Atrial Standstill等を合併する巨細胞性心筋炎に対してImpella5.5により救命できた1例
 (佐久医療センター循環器内科) 中川 知哉
 橘 賢廣、伊藤 黄、近澤 優太、丸山 周作、
 長谷川智也、土屋ひろみ、木村 光、矢崎 善一

VI-8 血行動態の破綻した劇症型好酸球性心筋炎に対して早期心内膜下生検が有用であった一例
 (獨協医科大学埼玉医療センター循環器内科) 岩瀬 太希
 華 臻聖、板橋 裕史、小林さゆき、田口 功

VI-9 背部痛で搬送された冠攣縮性狭心症を併存する71歳女性が心室中部閉塞性肥大型心筋症の診断となった1例
 (練馬光ヶ丘病院循環器内科) 住本 陸
 伴 聡一郎、鴨志田 将、橋元由紀子、齊藤 遥平、
 赤池 永成、齋藤 大樹、間瀬 卓顕、佐藤 陽、
 山本 慶、荒尾憲司郎

VI-10 初めての喫煙が契機となり好酸球性心筋炎を発症した若年男性の1例
 (災害医療センター循環器内科) 山本 駿平
 土居 惇一、益本 寛之、林 恭史、野崎小百美、
 瀬上 将太、羽生 佳弘、山下 周、近江 哲生、
 大野 正和、清水 茂雄
 (東京科学大学病院循環器内科) 笹野 哲郎

VI-11 抗ミトコンドリアM2抗体陽性の原発性胆汁性胆管炎・全身性強皮症に合併した心臓サルコイドーシスの一例
 (獨協医科大学日光医療センター心臓・血管・腎臓内科) 水口 聡
 杉山 拓史、小野 翔也、安 隆則、前嶋 康浩
 (獨協医科大学日光医療センター循環器内科) 北原慶次郎、大谷 直由、堀江 康人、杉村 浩之

一般演題 セッション15 心内膜炎 11:30-12:10

座長(横浜栄共済病院循環器内科) 岩城 卓
 座長(神原記念病院循環器内科) 細谷 弓子
 コメンテーター(東京山手メディカルセンター循環器内科) 吉川 俊治
 コメンテーター(東京大学医学部附属病院循環器内科) 八木 宏樹

VI-12 Cutibacterium acnesが起因菌となった感染性心内膜炎(Infectious Endocarditis:IE)の一例
 (自治医科大学附属さいたま医療センター総合診療科) 陣内聡太郎
 福地 貴彦

VI-13 16S rRNAアンプリコンシーケンスにより診断された血液培養陰性感染性心内膜炎の一例
 (帝京大学医学部医学科) 小島万優子
 (帝京大学医学部内科学講座循環器内科) 荒川 雅崇、井関 洋成、三浦 瑞樹、筒井 健太、
 渡邊 雄介、片岡 明久、上妻 謙
 (東京科学大学歯学部歯周病学分野) 芝 多佳彦、高田 晃己、長井 貴彦、岩田 隆紀
 (帝京大学医学部形成・口腔顎顔面外科学講座) 大金 覚
 (帝京大学医学部心臓血管外科講座) 下川 智樹
 (東京科学大学大学院医歯学総合研究科口腔生命医科学分野) 片桐さやか

VI-14 *Corynebacterium Striatum*による急性大動脈弁閉鎖不全症を伴った感染性心内膜炎の1例
 (横浜市立大学附属病院循環器内科) 中原 脩
 鈴木 徹、中島 理恵、小村 直弘、小西 正紹、
 大塚 文之、石上 友章、日比 潔
 (横浜市立大学附属病院心臓血管外科) 南 智行、齋藤 綾

VI-15 感染性心内膜炎に対して二弁置換術後、完全房室ブロックを合併し永久ペースメーカー植え込みとなった一例
 (山梨大学臨床研修センター) 依田 昂也
 (山梨大学循環器内科) 出山順太郎、宮原 徳也、市川 優真、武井 俊樹、
 江口 実佑、齊藤 惇平、朝比奈千沙、相沢 聖子、
 山田 亮太、堀越 健生、吉崎 徹、渡邊 陽介、
 植松 学、黒木 健志、小林 剛、中村 和人、
 中村 貴光、佐藤 明
 (山梨大学心臓血管外科) 加賀重亜喜、中島 博之

ランチョンセミナー 6 12:20-13:10 共催：ヤンセンファーマ株式会社 メディカルアフェアーズ本部
 座長 (国際医療福祉大学成田病院) 杉村宏一郎
 心エコーで「肺高血圧症」を見つけたらどうしますか～ 2025年改訂版最新ガイドラインを踏まえて～
 (慶應義塾大学) 平出 貴裕

JCS-JHRS合同企画
 13:20 -14:50
 座長 (国際医療福祉大学大学院東京赤坂キャンパス/
 日本不整脈心電学会心電図検定委員会委員長) 栗田 康生

心電図検定対策講座

心電図検定対策講座：虚血編 ～ST-T変化の鑑別について～
 (日本医科大学多摩永山病院循環器内科) 小谷英太郎

心電図検定対策講座～頻脈性不整脈～
 (東京慈恵会医科大学循環器内科) 徳田 道史

デザートセミナー 5 15:00-15:50 共催：日本メドトロニック株式会社
 座長 (湘南鎌倉総合病院循環器科) 山中 太
 コメンテーター (東邦大学医療センター大森病院循環器内科) 佐地 真育
 コメンテーター (横浜市立大学附属市民総合医療センター心臓血管センター内科) 松下 絢介

弁膜症を聴く、地域で診る～連携でつなぐ心の音～

超聴診器の活用編
 (横須賀市立総合医療センター循環器内科) 坂 賢一郎

最新TAVRエビデンス編
 (東海大学医学部附属病院循環器内科) 上岡 智彦

デザートセミナー 10 16:00-16:50 共催：MSD株式会社
 座長 (東京女子医科大学医学部循環器内科学分野) 菊池 規子

肺高血圧症

肺高血圧症における右心カテーテル併用運動負荷試験の意義
 (杏林大学医学部循環器内科学) 菊池 華子

一般演題 セッション16 先天性
17:00-17:50

座長 (JAとりで総合医療センター循環器内科) 山本 貴信
座長 (東京女子医科大学循環器内科) 小暮 智仁
コメンテーター (東京科学大学病院検査部) 落田 美瑛
コメンテーター (横浜市立みなと赤十字病院循環器内科) 有馬 秀紀

VI-16 僧帽弁逸脱症による重症僧帽弁閉鎖不全症に対し僧帽弁置換術を施行したNoonan症候群の一例

(多摩総合医療センター循環器内科) 西岡 拓哉
磯貝 俊明、藤井 駿、田中 西佳、三輪 裕仁、
守井 悠祐、櫻井進一朗、宮部 倫典、三ツ橋佑哉、
加藤 賢
(多摩総合医療センター心臓血管外科) 月崎 裕、野中 隆広、久木 甚至
(多摩総合医療センター病理診断科) 岩田 大、霧生 孝弘

VI-17 未破裂巨大瘤を合併した冠動脈瘻に対してコイル塞栓術を試みた一例

(昭和病院循環器内科) 渡邊さくら
田中 茂博、金子 翔太、新井 諒一、村上 貴彦、
岡田 健助、松永 紘、朝田 一生、大森 康歳、
石原有希子、鴨井 祥郎

VI-18 手術未施行のファロー四徴症に左冠動脈主幹部の急性心筋梗塞が合併した一例

(君津中央病院循環器内科) 石木田修平
山本 雅史、尾崎 僚、山浦 貴士、寺林 郁人、
葛 備、高原 正幸、石村 昌之、兵働 裕介、
田中 秀造、外池 範正、芳生 旭志、関根 泰、
氷見 寿治

VI-19 経頭蓋超音波ドプラ法が診断に有用であった卵円孔開存症による奇異性脳塞栓症の一例

(昭和医科大学横浜市北部病院卒後臨床研修センター) 内田茉里奈
(昭和医科大学横浜市北部病院循環器センター循環器内科) 豊島 大貴、加藤 大貴、佐藤 洋俊、伊藤 有輝、
落合 正彦

VI-20 異常筋束切除後に右室内狭窄の再発を認めた右室二腔症の1例

(新東京病院心臓内科) 南淵 美玲
長沼 亨、朴澤 耕治
(新東京病院臨床検査部) 田中 直樹
(新東京病院心臓血管外科) 津田 昇一、中尾 達也

第Ⅶ会場

一般演題 セッション 17 その他の疾患/地域医療/全般的問題

9:00-10:00

	座長 (広尾病院循環器科)	田中 博之
	座長 (湘南大磯病院循環器科)	高橋佐枝子
コメンテーター	(多摩総合医療センター循環器内科)	磯貝 俊明
コメンテーター	(広尾病院循環器科)	土山 高明

Ⅶ-1 冠動脈バイパス術後の急性大動脈解離手術において、蛍光画像システムが開存グラフト同定に有用であった1例

(榊原記念病院心臓血管外科)	矢野 敦之	
	角 康平、尹 亮元、大野 真、中原 嘉則、	
	岩倉 具宏	

Ⅶ-2 外傷性右冠動脈損傷に伴う心タンポナーデの一例

(AOI国際病院循環器内科)	米内 竜
	鎌田 龍明、白井 康大、川島 朋之、川端美穂子、
	平尾 見三
(川崎幸病院心臓外科)	川村 貴之、高梨秀一郎

Ⅶ-3 難治性再発性心膜炎を発症した二例

(埼玉医科大学国際医療センター心臓内科)	本澤 遥
	潟手 庸道、保谷 洋貴、長谷川早紀、松尾 圭祐、
	永井 充伸、松本 慧、高橋 一朗、中島 大輝、
	荒井 隆秀、中埜信太郎

Ⅶ-4 通過する右房内血栓を観察し得た肺動脈血栓塞栓症に対し、抗凝固療法による保存的加療が奏功した一例

(埼玉医科大学病院臨床研修センター)	白井 亮輔
(埼玉医科大学病院総合診療内科)	渥美 孝郎、松井 拓也、斎藤 雅也
(埼玉医科大学病院総合診療内科/埼玉医科大学病院心臓内科)	草野 武、飯田慎一郎、山本 啓二

Ⅶ-5 グローバル公募型医学教育プロジェクト助成を活用した心房細動を中心とした疾患啓発活動

(群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野)	石井 秀樹
	小保方 優
(群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野/ 群馬県立心臓血管センター)	小板橋紀通

Ⅶ-6 オフライン対応型AIによる学校心臓検診支援の有効性評価

(東京大学医学部)	荻原 怜子
	小寺 聡、大塚 直人、野口 智裕、岸川 理紗、
	篠原 宏樹、石田 純一、武田 憲彦

一般演題 セッション18 肺高血圧

10:15-10:55

座長（聖マリアンナ医科大学循環器内科）田邊 康宏
座長（新潟大学大学院医歯学総合研究科循環器内科学）萱森 裕美
コメンテーター（東京大学医学部附属病院循環器内科）皆月 隼
コメンテーター（慶應義塾大学医学部循環器内科）桃井 瑞生

VII-7 剖検により腎盂癌による肺腫瘍血栓微小血管症（PTTM）様の像を呈した一例

（東邦大学医療センター佐倉病院循環器内科）伊藤 拓朗
佐藤 修司、吉田瑠衣子、池田 拓史、野中 翔矢、
池田 裕樹、戸谷 俊介、岩川 幹弘、中神 隆洋、
美甘 周史、木下 利雄、高橋 真生、清水 一寛
（東邦大学医療センター佐倉病院血液内科）清水 直美
（東邦大学医療センター佐倉病院病理診断科）蛭田 啓之
（東邦大学医療センター佐倉病院看護部）田中康二郎

VII-8 急激な転帰をたどり、病理解剖で肺腫瘍血栓性微小血管症(PTTM)の診断に至った乳癌術後の肺高血圧症の一例

（武蔵野赤十字病院循環器内科）河内はるき
松山 麻央、足利 貴志、野里 寿史、永田 恭敏、
李 哲民、金子 雅一、三澤 透、長瀬 将司、
堀江 知樹、加地 大悟、小田中勇樹、大平 麻貴、
松田 和樹、吉光寺直哉、小井土文香、黄 恵、
馬場理紗子、高熊 朗

VII-9 シェーグレン症候群に合併した肺動脈性肺高血圧症の一例

（東京警察病院循環器科）中里 正貴
金子 光伸、菅野 聖城、奈良 有悟、大津 裕、
寺井 知子、笠尾 昌史

VII-10 乾癬患者に潜在する肺高血圧症リスク-特発性肺動脈性肺高血圧症の一例を通して-

（東京女子医科大学病院循環器内科）三上 朝賀
柴橋 英次、菊池 規子、鈴木 敦、山口 淳一

ベストティーチャーズ生ライブ ※地方会あり方検討委員会企画セッション

11:10-12:10

座長（帝京大学医学部内科学講座・循環器内科）上妻 謙
座長（群馬大学大学院医学系研究科内科学講座循環器内科学分野）石井 秀樹

「若手医師や学生に響く講義を学ぶ」

シン不全は全シン不全 ～循環器内科医はジェネラリストだ！～

（埼玉医科大学総合医療センター心臓内科）阿部 拓朗

睡眠時無呼吸症候群は循環器医にとっていかに重要な疾患かを考察する

（群馬大学循環器内科）高間 典明
石井 秀樹

ランチョンセミナー7

12:20-13:10

共催：エドワーズライフサイエンス合同会社

座長（順天堂大学医学部附属順天堂医院循環器内科）土井信一郎

TAVI治療の最前線！！適応拡大と術後フォローを考える

TAVI後PCIのキホンの“キ”

（東京医科大学病院循環器内科）笠原 智大

AS合併透析患者のTAVIを含めた包括的管理

(東京大学医学部附属病院循環器内科) 桐山 皓行

一般演題 セッション19 心不全1

13:20-14:00

座長 (杏林大学医学部循環器内科) 坂田 好美

座長 (国際医療福祉大学医学部循環器内科) 福岡 良磨

コメンテーター (昭和病院心臓血管センター循環器内科) 大森 康歳

コメンテーター (榊原記念病院循環器内科) 中山 敦子

VII-11 高齢者におけるLVAD Destination Therapyの経験

(東京女子医科大学循環器内科)

南 義成

菊池 規子、服部 英敏、曾根麻衣子、山口 淳一

(東京女子医科大学心臓血管外科)

市原 有起、斎藤 聡、新浪 博士、布田 伸一

VII-12 人工弁機能不全により急性心不全を呈した一例

(杏林大学医学部付属病院第二内科)

渡邊 貴之

南島 俊徳

VII-13 心不全薬物療法により左脚ブロックが改善した非虚血性心筋症の一例

(榊原記念病院循環器内科)

本康 宗佳

関口 幸夫、浅野 奏、林 洋介、細谷 弓子、

七里 守、新田 順一、磯部 光章

VII-14 微量元素(鉄、セレン、カルニチン)欠乏が一因と考えられた20代若年心不全の二症例

(東京山手メディカルセンター臨床研修医)

櫻沢 大地

(東京山手メディカルセンター)

渡部 真吾、大沼 隼一、横関 文弥、石田 凌大、

重田 卓俊、中村 玲奈、増田 怜、村上 輔、

吉川 俊治、鈴木 篤、薄井 宙男

一般演題 セッション20 心不全2

14:20-14:50

座長 (聖路加国際病院循環器内科) 青木 二郎

座長 (戸塚安行駅前内科内科・循環器内科) 齋藤 佑記

コメンテーター (横浜市立大学附属病院循環器内科) 小西 正紹

コメンテーター (榊原記念病院循環器内科) 高見澤 格

VII-15 SGLT2阻害薬は誰の予後を改善しているのか? -進行期CKDの有無による急性心不全の検討-

(埼玉医科大学総合医療センター臨床研修センター)

厚海 真琴

(埼玉医科大学総合医療センター心臓内科)

谷 昂大、内藤珠美乃、吉川 公基、上嶋 紗瑛、

堀澤 優介、沼賀 美紀、米山 史華、橋本 淳貴、

北川 快、志賀野航生、家村 優、小形 円香、

河原 勇貴、奥田 希子、村上 司、安藤 敏行、

石原 嗣郎、小宮山英徳、重城健太郎

VII-16 年齢によってCKDの重みは異なるのか? -急性心不全の長期予後に与える影響-

(埼玉医科大学総合医療センター臨床研修センター)

安倍 穰治

(埼玉医科大学総合医療センター心臓内科)

谷 昂大、内藤珠美乃、吉川 公基、上嶋 紗瑛、

堀澤 優介、沼賀 美紀、米山 史華、橋本 淳貴、

北川 快、志賀野航生、家村 優、小形 円香、

河原 勇貴、奥田 希子、村上 司、安藤 敏行、

石原 嗣郎、小宮山英徳、重城健太郎

Ⅶ-17 低BMIのHFpEF患者におけるSGLT2阻害薬導入後の体組成の検討

(群馬大学医学部附属病院栄養管理部)

下谷 幸

(群馬大学医学部附属病院)

小保方 優、鏡 和樹、湯浅 直紀、村上 文崇、
反町 秀美、石井 秀樹

デザートセミナー 6

15:00-15:50

共催：アボットメディカルジャパン合同会社

座長（船橋市立医療センター循環器内科）沖野 晋一

CMD（冠微小循環障害）

『Coronary microvascular dysfunction(CMD)の実臨床における意義』

～ CFRとIMRを中心とした実臨床を交えた具体的なCMD診断の活用方法～

(横須賀共済病院循環器内科)

伊藤 諒

医療安全・医療倫理に関する講習会（DVDセッション）

16:00-18:00

本セッションでは、第89回日本循環器学会学術集会で収録したプログラムをご覧ください。

一般社団法人日本循環器学会 支部規程

(総則)

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会（以下「日本循環器学会」という）各地区の支部（以下「各支部」という）の遵守すべき事項を定める。

(事務局)

第2条 各支部の事務局は、日本循環器学会定款施行細則に定める地区に置く。

(目的および事業)

第3条 各支部は日本循環器学会の目的達成のため次の事業を行う。

- 1) 地方会の開催
- 2) 日本循環器学会国際トレーニングセンター（JCS-ITC）としての講習会等の開催
- 3) 日本循環器学会本部からの委託事項の処理
- 4) その他目的の達成に必要な事業

(会員)

第4条 各支部の会員は、当該地区に所属する日本循環器学会の正会員および準会員とする。

2. 支部名誉会員/支部特別会員/支部顧問等の設置は各支部役員会で定めることとする。

(社員)

第5条 社員とは、日本循環器学会定款及び定款施行細則に基づき選出された各支部に所属する社員をいう。

(支部長)

第6条 各支部に支部長1名を置く。

2. 支部長は定款に基づき選出された支部所属理事の協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長は支部を統括する。
4. 支部長の任期は2年とし、再任を妨げない。

(支部役員)

第7条 各支部に支部役員を若干名置く。

2. 支部役員は支部所属理事及び支部長の推薦で選出された会員とし、支部長を除いた支部役員を支部社員総会で承認する。
3. 支部役員は、地方会、事業計画・報告、予算・決算、その他支部長の求めに応じて支部運営にあたる。
4. 支部役員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(支部監事)

第8条 各支部に支部監事を若干名置く。

2. 支部監事は支部長が候補者を会員から推薦で選出し、支部社員総会で承認する。
3. 支部監事は支部の監査を行い、不正の事実があれば支部社員総会及び日本循環器学会本部に報告する。
4. 支部監事の任期は2年とし、連続して就任できる期数は3期までとする。

(支部幹事)

第9条 各支部に支部幹事を若干名置く。

2. 支部事務局担当幹事およびJCS-ITC担当幹事の設置は必須とする。
3. 支部幹事は支部長が会員から選出する。
4. 支部幹事は支部長を補佐し、役員会/社員総会において会計報告及びJCS-ITC業務の報告等を行う。
5. 支部幹事の任期は支部長の任期に準じ、再任を妨げない。

(支部評議員)

第10条 各支部に支部評議員を置くことができる。

2. 支部評議員は会員から選出する。
3. 支部評議員は支部業務を補佐する。
4. 支部評議員の選出方法/任期/定年等は各支部役員会で定めることとする。

(地方会会長)

第 11 条 各地方会に会長 1 名を置く。

2. 地方会会長は支部役員会の推薦で選出し、支部社員総会において承認する。
3. 地方会会長は地方会を主催し、その経理/事業内容を支部役員会及び支部社員総会に報告する。
4. 地方会会長の任期は、主催地方会にかかる業務が完了するまでとする。

(支部役員会)

第 12 条 支部役員会は、支部役員で構成する。

2. 支部役員会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の承認
 - 2) 地方会会長の選出
 - 3) 支部運営上重要な規則の承認
 - 4) その他本支部の運営に必要な事項の確認 (JCS-ITC 報告など)
3. 予算もしくは事業計画に大幅な変更が見込まれる場合には臨時支部役員会を開催しなければならない。
4. 支部役員会は支部長が招集し議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。
5. 支部役員会は過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部役員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
6. 支部役員会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部社員総会)

第 13 条 支部社員総会は、社員で構成する。

2. 支部社員総会は年 1 回以上開催し、主に以下の事項を扱う。
 - 1) 事業計画・事業報告及び予算・決算の確認
 - 2) 決定された支部長の確認
 - 3) 支部役員・支部監事・地方会会長の承認または解任
 - 4) 支部運営上重要な規則の確認
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部社員総会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の互選により選出する。
4. 支部社員総会は支部社員の過半数が出席しなければ、その議事を決議できない。ただし、当該議事につき予め書面をもって意思を表示したもの、および他の支部会員を代理人として表決を委任したものは出席者とみなす。
5. 支部社員総会の議事は出席者の多数決をもって決し、可否同数の時は議長の決するところによる。

(支部評議員会)

第 14 条 支部評議員会は、支部評議員で構成する。

2. 支部評議員会は年 1 回以上開催し、以下の事項の報告を受ける。
 - 1) 予算・決算
 - 2) 事業計画および事業報告
 - 3) 地方会会長及び地方会開催地
 - 4) 支部長の選出結果
 - 5) その他本会の運営に必要な事項 (JCS-ITC 報告など)
3. 支部評議員会は、支部長が招集し、議長となる。ただし支部長に事故あるときは他の支部役員が招集する。この場合、議長は支部役員の協議により選出する。

(支部事務局業務)

第 15 条 支部事務局業務とは、支部役員会、支部社員総会、支部評議員会の運営、各事業の補助等をいう。

2. 支部事務局業務は、原則支部年会費収入の範囲内で収支均衡に努めなければならない。
3. 支部事務局業務にかかる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、支部事務局担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。
4. 各支部は全事業の会計報告を毎月すみやかに本部事務局に報告することとする。

(地方会)

第 16 条 各支部は地方会を年 1 回以上開催する。

2. 地方会に演題を提出する者は原則として会員でなければならない。
3. 地方会収支について、原則、収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
4. 地方会において新たな試みを実施する場合は、事前に地方会会長と支部長で協議を行うこととする。
5. 地方会における参加費等の現金取り扱いについて、不正や過誤が発生しない体制を整えなければならない。
6. 地方会の経費精算は、地方会会長もしくは会長が定めた者が内容を確認したうえで実施する。なお全ての精算を原則地方会終了後 2 ヶ月以内に完了させること。

(JCS-ITC 講習会)

第 17 条 各支部は JCS-ITC 講習会を JCS-ITC 担当幹事が計画を取り纏め、開催する。

2. 講習会収支について、原則収入の範囲内で費用支出を行うこととし、収支均衡に努めなければならない。
3. JCS-ITC 講習会に関わる経費精算の職務権限について、予算内経費精算は、JCS-ITC 担当幹事による確認を必要(事後確認可)とする。予算枠外使用については、20 万円未満が支部長承認、20 万円以上が支部役員会承認を事前に必要とする。

附則

- 1) 本規則は、平成 27 年 2 月 1 日から試行期間とし、平成 28 年 4 月 1 日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

支部コンプライアンス・倫理規程

（目的）

第1条 この規程は、一般社団法人日本循環器学会全支部（以下「支部」という）におけるコンプライアンスに関し基本となる事項を定め、もって健全で適正な学会運営及び社会的信頼の維持に資することを目的とする。

（定義）

第2条 この規程において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

- 1) コンプライアンスとは、法令、各支部の諸規則を遵守することをいう。
- 2) 支部役職者とは、支部に所属する支部長・支部役員・支部監事・支部幹事・地方会会長をいう。
- 3) 支部職員とは、支部の事務を担当する職員をいう。
- 4) コンプライアンス事案とは、支部の構成員にかかわる法令又は定款等の本学会諸規則や支部会則等に違反、または違反するおそれのある事案をいう。

（支部役職者及び支部職員の責務）

第3条 支部役職者・支部職員は、支部の定める理念および目標を実現するため、それぞれの責任を自覚し、コンプライアンスの重要性を深く認識するとともに、人権を尊重し、高い倫理観を持って行動しなければならない。

2. 支部役職者・支部職員は、次に掲げることを理由として、自らのコンプライアンス違反行為の責任をのがれることはできない。

- 1) 規程について正しい知識がなかったこと
- 2) 規程に違反しようとする意思がなかったこと。
- 3) 支部の利益に資する目的で行ったこと

附 則

- 1) 本規則は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この規程の改廃は日本循環器学会理事会の議決を経なければならない。

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部運営内規

(総則)

第1条 この内規は、一般社団法人日本循環器学会 支部規程を関東甲信越支部（以下「本支部」という。）において運用するために必要な事項を規定し、円滑な学会活動を推進することを目的とする。

(支部事務局)

第2条 本支部における支部事務局を東京都新宿区笹笹町43 新神楽坂ビル2F 有限会社ビジョンブリッジ内に設置する。

(支部長)

第3条

2. 2年毎に行われる理事選出選挙の後、支部規程第6条2項に沿い支部長を決定するが、支部長の任期開始日は7月1日からとする。
3. 支部長は日本循環器学会の関東甲信越地区で選出された理事の互選によって決定され、当該年度における本支部の事務を処理する。
4. 支部規程第6条の4項に沿い、支部長の任期は2年とし再任を妨げないとするが、本支部における支部長の連続して就任できる期数は2期（通算4年）までとする。
5. 支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(副支部長)

第4条 本支部に副支部長1名を置く。

2. 副支部長は支部所属理事の中から協議で決定し、支部社員総会において報告する。
3. 支部長に事故あるとき、又は支部長が別の支部へ異動したとき、副支部長を新たな支部長とする。この場合の任期は、退任した支部長の任期に準ずる。
4. 副支部長は、「支部コンプライアンス・倫理規程」を順守しなければならない。

(支部役員)

第5条

2. 支部役員は、支部規程第7条1項に沿い、支部所属理事の他、支部に所属する社員から支部長が推薦した者が務める。
3. 支部役員の定数は、本支部においては16名程度とする。内訳としては支部に所属する理事（関東甲信越地区、女性、小児科、外科）とその他の役員とする。
4. 支部役員は、関東甲信越地区の理事が推薦する、教授または部長以上の支部所属の社員とし、任期2年で再選は妨げない。関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
5. 支部役員は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部監事)

第6条

2. 支部規程第8条1項に定める支部監事の定数は、本支部においては2名とする。
3. 支部規程第8条2項に定める支部監事の選出について、支部長が候補者を社員から選出することとする。なお独立性を鑑み、支部役員、支部幹事との兼務は不可とする。

4. 監事は本支部の会計その他の事務遂行状況の監査を行うものとする。その任期は 2 年とし、再任はさまたげない
5. 支部監事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。

(支部幹事)

第 7 条

2. 支部規程第 9 条に定める支部幹事は、本支部においては支部事務局担当幹事 1 名、JCS-ITC 講習会担当幹事 1 名、ダイバーシティ推進委員会担当幹事 1 名とし、支部役員との兼務も可能とする。
3. 支部幹事は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 支部事務局担当幹事ならびに JCS-ITC 担当幹事は、それぞれの業務における月度毎の収支状況をモニタリングし、予算進捗確認を行わなければならない。予算に対し収支悪化の場合は、対策を検討し支部長へ報告すること。また収支改善の場合は、その資金活用方法について検討し支部長へ報告することとする。
5. 支部幹事は、会員の中から選出することとし、関東甲信越地区理事による理事会にて決定する。
6. 支部幹事は、それぞれの業務において投資（JCS-ITC 講習会用のマネキン、事務局運営用のパソコン等）が必要な場合は、事業計画、予算において明確化し、支部役員会・支部社員総会において発言し、承認を得なければならない。

(支部評議員)

第 8 条

2. 支部規程第 10 条に定める支部評議員は、現任の支部評議員の推薦により選出し、支部評議員会において承認する。
3. 推薦人は、支部評議員会予定日より 15 日以前に候補者の推薦書を支部事務局へ提出する。
4. 有資格者でありながら推薦人が見当たらない場合は、支部長が推薦人となることが出来る。
5. 支部評議員の被推薦資格は、以下の 3 項をすべて満たすこととする。
 - 1) 65 歳以下で 7 年以上日本循環器学会会員であること
 - 2) 講師又は医長以上である者、または、本会学術集会において特別講演講師、教育講演講師、シンポジウム、パネルディスカッション、ファイヤーサイドカンファランスの演者を担当したことがあるもの
 - 3) 本支部地方会において過去 5 年間に 3 演題以上発表（共同演者でよい）していること。但し、基礎研究者・外科医・小児科医については別途考慮する。

(地方会会長)

第 9 条

2. 支部規程第 11 条に定める地方会会長の選出方法は以下のとおりとする。
 - 1) 資格 : 教授または部長以上の本支部評議員
 - 2) 推薦方法 : 評議員による他薦または自薦に基づき、支部長が提案し支部役員会で選出の上、支部社員総会で承認する。
 - 3) 推薦時期 : 支部役員会開催予定日より 15 日以前に支部長に推薦書を送付する。
3. 地方会会長は、「支部コンプライアンス・倫理規定」を確認し、その内容を遵守しなければならない。
4. 地方会会長は、「臨床研究の利益相反に関する共通指針の細則」に定められた様式の利益相反の自

己申告書を支部長経由で本会へ提出しなければならない。

5. 地方会会長は、地方会開催場所・日程の決定を行う。
6. 地方会の主題および演題の選定および採択は、会長が裁量する。
7. 地方会実施にあたり、会長の推薦にて会長校事務局長を任命してよい。会長校事務局長は、会長からの指示に基づき、地方会運営を補助することとする。
8. 地方会運営にあたる企画会社手数料が過多とならないことを事前に確認しなければならない。
9. 地方会開催にあたり収入の受入れ、費用の精算の為、会長名において専用口座を開設する。口座開設と同時にキャッシュカードを作成する場合は、会長から使用者・保管者を指名し、それ以外のものが利用出来ない体制を構築しなければならない。
10. お届け印、通帳は会長または会長が指名した者が保管する。保管にあたっては必ず施錠し、本人のみが解錠出来る体制としなければならない。

（支部役員会、支部社員総会、関東甲信越地区理事会、支部評議員会）

第10条

2. 支部規程第12条に定める支部役員会は、年1回開催とする。
3. 支部規程第13条に定める支部社員総会は、年1回開催とする。
4. 関東甲信越地区理事による理事会は、年2回開催とする。
5. 支部評議員会は、年3回開催とする

（支部事務局業務）

第11条

2. 支部規程第15条における支部事務局業務は、事務局担当幹事を補佐し、円滑に業務を遂行することを目的として、本業務に従事する人員を支部役員会の承認のもと採用しても構わない。雇用条件の変更がある場合は、支部役員会での承認を必要とする。
3. 上記1項の方法以外に、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）

（地方会）

第12条

2. 支部規程第16条1項に定める地方会について、本支部は毎年4回地方会を開催する。
3. 地方会の名称は、第〇〇回日本循環器学会関東甲信越地方会とする。
4. 本支部地方会に関する事項は、本会の会告及びその他の手段により会員に広報する。また、その抄録データを本会に提出する。
5. 地方会において市民公開講座及び託児室設置を実施する場合は、本支部より、助成金90万円を地方会事務局に交付する。助成金は、経費内訳及び証憑書類の提出を持って交付するものとする。
6. 地方会の参加費は要領に別途定めたとおりとするが、参加費を変更する場合は支部役員会での承認を必要とする。
7. 地方会での寄付の受入は、「寄付金取扱規程」に基づき対応する。
8. 地方会における華美な懇親会の開催を禁じる。
9. 地方会当日の現金（参加費）の取扱いにおいて、不正や過誤が発生しないよう関係するスタッフの教育を十分行わなければならない。

10. 地方会経費の精算は、リスク管理の観点から現金での精算を禁じ、原則請求書対応とする。請求書対応が難しい場合は、企画会社・スタッフによる立替精算を行い、後日レシートや領収書をもとに精算する。
11. 地方会終了後、余剰金が発生した場合、支部管轄の地方会口座に振込し、次回以降の地方会補助金とする。その後、口座は解約する。
12. 非会員の招請者、支部役員への待遇については要領に別途定めたとおりとするが、これ以外の対応を行う場合は、支部役員会での承認が必要とする。
13. 地方会時の専門医単位登録について、本会から明示された「単位登録の運営方法について」に沿って対応しなければならない。
14. 地方会演者は、発表時に定められた様式「利益相反の自己申告書」を提示する必要がある。
15. 本支部地方会会長は、若手循環器専門医の育成を目的として、Student Award、Resident Award、Clinical Research Award、Case Report Award を設け、各賞最優秀演題発表者1名、優秀賞2名を顕彰する。実施要領は別途定めた通りとする。

(JCS-ITC 講習会)

第13条

2. 年4回のインストラクター一覧更新時に、本会事務局より受領したインストラクター一覧を支部長ならびに幹事に提出すること。
3. JCS-ITC 講習会の事務業務（受講料受付・謝金や立替金の精算 等）については支部事務局において実施する。ただし業務の円滑化を目的として、外部の業者や個人への業務委託を行ってもよい。委託にあたっては支部との間に契約が必須となる。（契約書において、資金管理面での過誤が無いように努めること、不正を行わないことを明記し、不正を行った場合の損害賠償を行う旨、記載すること。）
4. コース開催日程は、各支部ホームページに掲載することとする。
5. 業務管理を明確化することを目的として、JCS-ITC 業務専用の口座を開設してよい。専用口座の取扱については、要領に別途定めたとおり慎重に行う。
6. コース開催時にコースディレクター等が立替精算をした場合は要領に別途定めたとおりに行い、不必要な経費支出は慎むこと。
7. コース終了後、コースディレクターは参加インストラクター・タスクを一覧化し（以下インストラクター・タスク一覧）、各自立替えしたコース開催地までの交通費を纏め、支部事務局（または外部委託している業者・個人）へ提出しなければならない。また、受講料収益と使用経費を一覧化し、コース毎の収支実績を作成し、合せて支部事務局へ提出する。
8. 各コースディレクターがコースに必要な資金を事前に仮払金として引出して使用する場合は、予め仮払金申請書を作成し、JCS-ITC 幹事のメール承認を要する。
なお、ITC 幹事がコースディレクターとなる場合は、支部長のメール承認を要する。
9. 経費精算において、振込対応では無く、上記の仮払金を活用し現金にて謝金精算や立替精算を行う場合は、必ず受領者から支部宛での領収書を頂き、証憑として支部事務局へ提出しなければならない。
10. 支部事務局（または外部委託している業者・個人）は、提出されたインストラクター・タスク一覧、旅費申請書、領収書等に基づき、謝金（交通費・宿泊費含む）・立替金の精算を行う。また謝金源泉税分の納税を行う。（謝金金額についてはJCS-ITC 規定に則る。また旅費申請書、領収書等の証憑が無いものの精算は出来ない。）

11. 支部事務局は、収入・経費を取纏め(漏れが無いこと、経費使用理由等が明確であること等を再確認)の上、本部事務局へ提出し会計ソフトへの入力を依頼する。

(支部委員会)

第14条

2. 支部長は、本支部の事業の円滑な推進を図るため必要があると認めるときは、役員会の決議を経て、委員会を設置することができる。なお、これを廃止する場合も同様とする。
3. 前条の委員会は、必要に応じて部会、小委員会を組織することができる。
4. 委員会は、目的、委員構成、業務などを規定した支部委員会内規を作成し、役員会の承認を得なければならない。
5. 委員会は、委員長1名および委員若干名で組織する。
6. 委員長は支部長が支部役員の中から指名し、役員会の議を経て選任する。
7. 必要に応じて委員の中から副委員長を置くことができる。
8. 副委員長、委員は委員長が指名し、役員会の議を経て選任する。

附則

- 1) この内規は、平成27年2月1日から試行期間とし、平成28年4月1日から完全実施とする。
- 2) この内規改正は、支部役員会において審議し、支部社員総会にて決定する。

令和元年9月28日一部改定

令和2年9月5日一部改定

令和5年10月1日一部改定

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 学術委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部学術委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、日本循環器学会関東甲信越支部の学術活動を支援することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会の学術面の向上について検討・協議し、役員会および会長に上申する。

2) その他学術活動に対する支援に必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 情報・広報委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部情報・広報・啓発委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、本会のホームページやインターネットを利用した学会員への情報の提供、学術成果の社会への公開と還元、国内外の関連学会の情報提供交換等に関する活動を実施することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 学会のホームページの作成、管理及び運用
- 2) インターネットによる本会の情報サービス
- 3) 国内外の関連学会等との情報交換と広報活動
- 4) その他必要な業務。

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 ダイバーシティ推進委員会内規

(設置)

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部ダイバーシティ推進委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

(目的)

第2条 本委員会は、循環器学分野における男女並びに多種多様な人材の共同参画の推進を図り、男女並びに多種多様な人材の共同参画の視点に立った教育・研究・就業体制を確立するため、企画・立案・実施に当たることを目的とする。

(組織)

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

(委員)

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

(委員会)

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

(業務)

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

- 1) 国内外の関連学会・団体等との情報交換および連携
- 2) 地方会でのダイバーシティ推進セッション等の企画立案・実施
- 3) その他必要な業務

(計画・予算)

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

(報告)

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

(改廃)

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 チーム医療委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部チーム医療委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、地方会におけるコメディカルとの関わり方の検討および、コメディカル関係の諸学会との連絡調整を行う。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 地方会におけるコメディカルの位置付けの検討および、コメディカル関係学会との連絡調整をする。

2) 関係諸学会からの依頼に応じて、本委員会において代表の派遣などを選考する。

3) 委員は、関係諸学会への渉外を担当し、外部機関の要請に応じてこれらが主催する会議等に本学会の代表として出席する。

4) その他必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 地方会あり方検討委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部地方会あり方検討委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、地方会を活性化することを目的とし、地方会のあり方を検討・協議し、役員会および会長に上申する。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) 若手、女性、メディカルスタッフの参加促進策を検討・協議する。

2) 地方会プログラムの充実化を検討・協議する。

3) その他必要な業務

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

一般社団法人日本循環器学会 関東甲信越支部 予防委員会内規

（設置）

第1条 関東甲信越支部運営内規第13条に基づき、本支部に一般社団法人日本循環器学会関東甲信越支部予防委員会（以下、「本委員会」という）を置く。

（目的）

第2条 本委員会は、循環器疾患等の予防に関する事柄について、協議・検討し、役員会上申することを目的とする。

（組織）

第3条 本委員会は、委員長1名、委員若干名を以って組織する。

（委員）

第4条 委員長は役員とし、役員会の議を経て、支部長が委嘱する。

2. 委員は、委員長が指名し支部長が委嘱する。

3. 委員の任期は2年とし、再任は妨げない。

（委員会）

第5条 本委員会は委員長が召集し、議長となる。

2. 本委員会の審議事項は、役員会に報告し、承認を得なければならない。

（業務）

第6条 本委員会は、第2条の目的達成のために次の業務を行う。

1) すべての国民の循環器疾患等の予防を推進する業務。

2) 予防活動を積極的に推進し、その重要性を社会に発信する業務。

3) 循環器疾患等の予防研究の実施ならびに支援。

4) その他、循環器疾患等の予防に関する必要な業務。

（計画・予算）

第7条 委員長は、年度毎に業務計画とその遂行に必要な予算について、当該年度開始前に役員会に諮らなければならない。

（報告）

第8条 委員長は、任期終了時においては、任期中の活動報告を役員会に提出し、次期委員会へ引き継がなければならない。

（改廃）

第9条 この内規の改廃は、役員会の承認を得なければならない。

附 則 この内規は、令和元年9月28日より施行する。

令和2年9月5日一部改訂

MEMO

MEMO

Medtronic

Covers up to 350 mm lesion length

IN.PACT™ 018

Drug-Coated Balloon

5 Fr
Compatible
(4 – 6 mm diameter)

IN.PACT™ Admiral™

Drug-Coated Balloon

Available in
250 mm
balloon length

日本メドトロニック株式会社

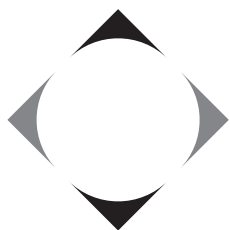
medtronic.co.jp

販売名: IN.PACT Admiral 薬剤コーティングバルーンカテーテル
医療機器承認番号: 22900BZX00295000

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の電子添文をご参照ください。
本製品の使用に際しては、“大腿膝窩動脈用薬剤コーティングバルーンの適正使用指針”を遵守ください。

© 2023, 2024 Medtronic. Medtronic及びMedtronicロゴマークは、Medtronicの商標です。
TMを付記した商標は、Medtronic companyの商標です。

PV-340_2



ALVAUS

株式会社アルバース

循環器医療に、 こころ躍る未来を。

「最近の医療は大きく進歩していますよ」
ドクターのこの一言が患者様を
どれほど勇気づけることでしょう。
アルバースは循環器医療機器の
エキスパートとして
その進歩を支えることで、医療現場の皆様や
患者様ひとりひとりの未来に
明るい希望を巡らせ続けます。

こころが躍る瞬間に、
アルバースも共にいます。

株式会社アルバース

本社 〒103-0027 東京都中央区日本橋3-9-1
日本橋三丁目スクエア4F
TEL:03-6665-0485 FAX:03-6665-0486
URL:<https://www.alvaus.co.jp/>

オフィス:東京・西東京・横浜・千葉・静岡・沼津・浜松・豊橋・名古屋・松本・金沢・福井・大阪
サテライト:城南・立川・八王子・さいたま・川越・熊谷・太田・前橋

Webサイト





ALEXION®
AstraZeneca Rare Disease



トランスサイレチン型心アミロイドーシス治療薬 薬価基準収載

ビヨントラ®錠400mg

(アコラミジス塩酸塩)

一般名：アコラミジス塩酸塩

処方箋医薬品（注意－医師等の処方箋により使用すること）

新発売

「効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。

製造販売元

アレクシオンファーマ合同会社

〒108-0023 東京都港区芝浦3丁目1番1号 田町ステーションタワーN

[文献請求先及び問い合わせ先] メディカル インフォメーション センター

TEL：0120-577-657

受付時間：9:00～17:30（土日、祝日及び弊社休業日を除く）

2025年5月作成



生薬には、
個性がある。

漢方製剤にとって「良質」とは何か。その答えのひとつが「均質」である、とツムラ
は考えます。自然由来がゆえに、ひとつひとつに個性がある生薬。漢方製剤に
とって、その成分のばらつきを抑え、一定に保つことが「良質」である。そう考える
私たちは、栽培から製造にいたるすべてのプロセスで、自然由来の成分のばらつきを
抑える技術を追求。これからあるべき「ツムラ品質」を進化させ続けます。現代を
生きる人々の健やかな毎日のために。自然と健康を科学する、漢方のツムラです。

良質。均質。ツムラ品質。



株式会社ツムラ <https://www.tsumura.co.jp/> 資料請求・お問合せは、お客様相談窓口まで。

医療関係者の皆様 tel.0120-329-970 患者様・一般のお客様 tel.0120-329-930 受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日は除く)

2021年4月制作 ㊞



造影剤自動注入装置

Zone Master Neo II

[ゾーンマスター ネオ2]



〈お問い合わせ先〉

信頼をかたちに

シーマン株式会社
<https://www.sheen-man.co.jp>

本 社 大阪市北区東天満1丁目12番10号 〒530-0044
TEL(06)6354-7702 FAX(06)6354-7114
東京支店 TEL(03)5207-3521 FAX(03)5207-3522
九州支店 TEL(092)283-7400 FAX(092)283-7401
名古屋営業所 TEL(052)218-7337 FAX(052)218-7338

販 売 名:ゾーンマスター ネオ2
認 証 番 号:303ADBZX00107000
製造販売元:スーガン株式会社

シーマン株式会社
ホームページはこちら



Medtronic

Engineering the extraordinary

医療従事者の 皆様と共に

医療の最前線で
尽力されている皆様と共に

患者さんの治療を継続するために
懸命に働いている皆様と共に

メドトロニックは
医療への更なる貢献を
医療従事者の皆様と
共に目指します。

私たちの取り組みに
ついてはこちら

メドトロニック 検索

medtronic.co.jp

© 2022 Medtronic. Medtronic、メドトロニック、Medtronicロゴマーク及び
Engineering the extraordinaryは、Medtronicの商標です。COMMS-2022-0045



高脂血症治療剤

パルモディア[®] XR 錠 0.2mg / 0.4mg

PARMODIA[®] XR TABLETS 0.2mg・0.4mg (ベマフィブラート徐放錠)

処方箋医薬品：注意—医師等の処方箋により使用すること

「効能又は効果」、「用法及び用量」、「禁忌を含む注意事項等情報」等については電子添文をご参照ください。



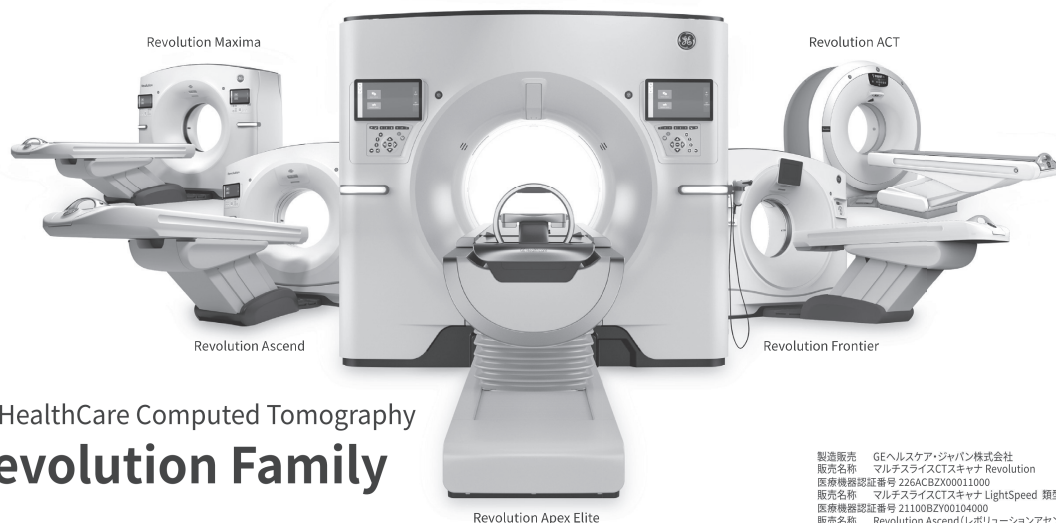
製造販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

興和株式会社

東京都中央区日本橋本町三丁目4-14

2025年4月作成

Lead CT Now and into the Future



GE HealthCare Computed Tomography Revolution Family

GEヘルスケア・ジャパン株式会社
カスタマーコールセンター 0120-202-021
gehealthcare.co.jp

製造販売 GEヘルスケア・ジャパン株式会社
販売名称 マルチスライスCTスキャナ Revolution
医療機器認証番号 226ACBZX00011000
販売名称 マルチスライスCTスキャナ LightSpeed 類型 Revolution Frontier
医療機器認証番号 21100BZY00104000
販売名称 Revolution Ascend (レボリューションアセンド)
医療機器認証番号 302ACBZX000041000
販売名称 Revolution Maxima (レボリューションマキシマ)
医療機器認証番号 301ACBZX00013000
販売名称 全身用X線CT診断装置 Revolution ACT
医療機器認証番号 228ACBZX00005000
記載内容は、お断りなく変更することがありますのでご了承ください。
JB06G31JA

選択肢をつくる。 希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。

病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつづけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。

 田辺三菱製薬

<https://www.mt-pharma.co.jp/>



手術のあらゆる映像を記録・配信、一元管理し、 チーム医療をサポート

手術映像記録・配信システム

carina MENIC V5 ex



carina

カリーナシステム株式会社

【お問合せ】

sales@carinasystem.co.jp

www.carinasystem.co.jp

【神戸本社】

〒650-0034 兵庫県神戸市中央区京町69
三宮第一生命ビルディング7F
TEL: 078-335-7601

【東京事業所】

〒143-0016 東京都大田区大森北1-6-8
ウィラ大森ビル4F
TEL: 03-6809-1340

【福岡営業所】

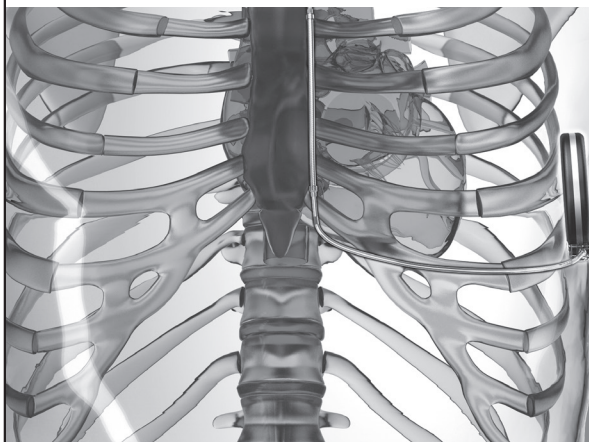
〒810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通3-6-11
福岡フコク生命ビル
TEL: 092-292-5808

EMBLEM™ MRI S-ICD System

Subcutaneous Implantable Defibrillator

Boston
Scientific

Advancing science for life™



PROTECTION

Without Touching the Heart

販売名: S-ICD バルスジェネレータ
医療機器承認番号: 22700BZX00132000

販売名: S-ICD リード
医療機器承認番号: 22700BZX00133000

製品の詳細に関しては添付文書等でご確認いただくか、弊社営業担当へご確認ください。

製造販売元

ボストン・サイエンティフィック ジャパン株式会社
本社 東京都中野区中野 4-10-2 中野セントラルパークサウス
www.bostonscientific.jp

総販売元

日本ライフライン株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号
<https://www.jll.co.jp>

JLL Japan Lifeline

Reimagining medicine, together

ともに、医薬の未来を描く

 NOVARTIS





薬価基準収載

選択的尿酸再吸収阻害薬 一高尿酸血症治療剤一

 **ユリス錠** [®] 0.5mg
1mg
2mg

〔ドチヌラド〕 処方箋医薬品^注

URECE[®] Tablets 0.5mg・1mg・2mg

注) 注意—医師等の処方箋により使用すること

※効能又は効果、用法及び用量、禁忌を含む
注意事項等情報等は電子添文をご参照ください。



販売＜文献請求先及び問い合わせ先＞
持田製薬株式会社
東京都新宿区四谷1丁目7番地
TEL 0120-189-522（くすり相談窓口）

製造販売元＜文献請求先及び問い合わせ先＞

株式会社 富士薬品

〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町1-12-5 沢田ビル6階
TEL 048-644-3247（カスタマーサービスセンター）

2025年1月作成（N6）

Canon

Alphenix × Deep learning

Coronary Intervention を、さらなる高みへ

Alphenix Evolve Edition



α Evolve Imaging

AI (Deep Learning) を活用したリアルタイムの画像処理技術で画質の向上と被ばく低減を実現します。

ECG Sync

心電図波形に同期したタイミングでのX線照射により、心拍動を抑えた画像と被ばく低減を実現します。

【一般的名称】 据置型デジタル式循環器用X線透視診断装置 【販売名】 X線循環器診断システム Alphenix INFX-8000V
【認証番号】 218ACBZX00001000 ※設計段階でAI技術を用いており、本システム自体に自己学習機能は有していません。

詳しくは
WEBで



キヤノンメディカルシステムズ株式会社 <https://jp.medical.canon>

Made For life

nihon medi+physics

Nuclear Medicine

処方箋医薬品^⑧ 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、副甲状腺疾患診断薬
腫瘍（脳、甲状腺、肺、骨・軟部、縦隔）診断薬

塩化タリウム（²⁰¹Tl）注NMP

日本薬局方塩化タリウム（²⁰¹Tl）注射液

処方箋医薬品^⑧ 薬価基準収載

放射性医薬品・心疾患診断薬

カルディオダイナ[®]注

放射性医薬品基準15-（4-ヨードフェニル）-
3（R,S）-メチルペンタデカン酸（123I）注射液

処方箋医薬品^⑧ 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオブュー[®]注シリンジ

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム（^{99m}Tc）注射液

処方箋医薬品^⑧ 薬価基準収載

放射性医薬品・心臓疾患診断薬、心機能診断薬

マイオブュー[®]「注射用」

放射性医薬品基準テロホスミンテクネチウム（^{99m}Tc）注射液調製用

⑧：登録商標

注）注意・医師等の処方箋により使用すること

■効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、添付文書をご参照ください。

製造販売元

日本メジフィジックス株式会社

〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号
文献請求先及び問い合わせ先 ☎0120-07-6941

弊社ホームページの「医療関係者専用情報」サイトでSPECT検査について紹介しています。

<https://www.nmp.co.jp>

2025年1月改訂



製品情報はこちらの二次元
バーコードからご覧ください

Address the Challenges of Calcium Without Compromising

妥協することなく石灰化
の課題に挑戦し続けます

製品の詳細については弊社ウェブサイトをご確認下さい
<https://shockwavemedical.co.jp/>

販売元 / 問い合わせ先 : Shockwave Medical Japan株式会社
〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-11-5 日本橋ライフサイエンスビルディング 2 6F

本製品は、医師における使用または医師の指示の下で使用される製品です。

使用目的又は効果、警告・禁忌を含む使用上の注意等の情報につきましては製品の添付文書及び取扱説明書をご参照ください。 <https://shockwavemedical.co.jp/product/>

一般的名称：アテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテル

販売名：C2 コロナリー IVL カテーテル、医療機器承認番号：30400BZ100008000

一般的名称：アテローム切除アブレーション式血管形成術用カテーテル駆動装置 販売名：IVL ジェネレーター、医療機器承認番号：30400BZ100007000

© 2024 Shockwave Medical Inc. All rights reserved. SPL-J-70124 Rev. B

TERUMO
INTERVENTIONAL
SYSTEMS

Ultimaster®

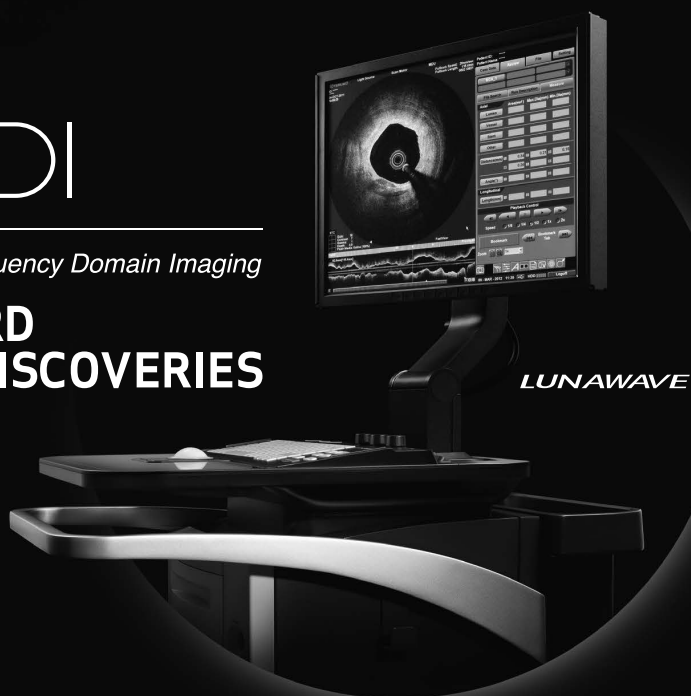
Drug-Eluting Stent

**ULTIMATE
DESIGN**
FOR MASTERING
COMPLEXITY*

OFDI

Optical Frequency Domain Imaging

**TOWARD
NEW DISCOVERIES**



* Ultimasterの名称には、臨床課題の克服に貢献したいという想いが込められています。

一般的名称：冠動脈ステント 販売名：アルチマスター 医療機器承認番号：22700BZX00224
一般的名称：OCT 画像診断装置 販売名：ルナウェーブ 医療機器承認番号：22500BZX00058 特定保守管理医療機器

※ イラストはイメージ図です。

製造販売業者 **テルモ株式会社** 〒151-0072 東京都渋谷区幡ヶ谷2-44-1 www.terumo.co.jp

TERUMOはテルモ株式会社の商標です。
Ultimaster、アルチマスター、LUNAWAVE、ルナウェーブはテルモ株式会社の登録商標です。
©テルモ株式会社2016年2月